



PORTATONE

PSR-260

取扱説明書



ごあいさつ

このたびはヤマハポータートーン PSR-260 をお買いもいただき、まことにありがとうございます。PSR-260 のさまざまな機能を十分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。なお、読み終わったあとも、保証書とともに大切に保管して、操作のしかたがわからないときにお読みください。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもおお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

記号表示について

△ 記号は、危険、警告または注意を示します。

⊘ 記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

● 記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

* お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

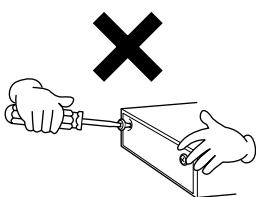
警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。

感電や火災、または故障の原因になります。



電源アダプターコード / プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。(乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜く。) 感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



電源は必ず交流 100V を使用する。エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



電源アダプターを使用する場合は、指定の電源アダプター (PA-3B) 以外は使用しない。(異なった電源アダプターを使用すると) 故障、発熱、発火などの原因になります。



手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。



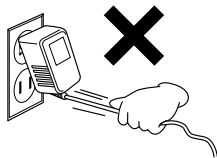
電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。感電やショートのおそれがあります。

⚠️ 注意

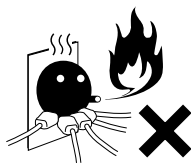
この表示内容を見逃した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

❌ 電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源アダプターコードに重いものをのせない。
電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

❗ 電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源アダプターコードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。



❌ タコ足配線をしない。
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。



❗ 使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電、ショート、発火などの原因になります。

❗ 乾電池はすべて+ / -の極性表示通りに正しく入れる。
正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのおそれがあります。

❗ 乾電池は一度に全部を交換する。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なったもの（アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど）を一緒に使用しない。
発熱、発火、液漏れの原因になります。

❌ 乾電池を分解したり、火の中に入れてたりしない。
乾電池の中のものが入ると危険です。また、火の中に入ると破裂するおそれがあります。

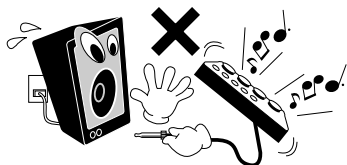
❌ 使い切りタイプの乾電池は、充電しない。
充電すると液漏れや破裂の原因になります。

❗ 長時間使用しない場合や乾電池を使い切った場合は、乾電池を本体から抜いておく。
乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

❌ 乾電池は子供の手の届くところに置かない。
お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。

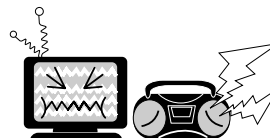
❌ 乾電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。万一液が目や口に入ったり皮膚に付いたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師に相談する。
失明や化学やけどなどのおそれがあります。

❗ 他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小(0)にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。
感電または機器の損傷のおそれがあります。



❌ 直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、またほこりや振動の多い場所で使用しない。
本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。

❌ テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。
デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



❌ 不安定な場所に置かない。
機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

❗ 本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。
コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。

❌ 本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック / ゴム製品などを置かない。
本体のパネルや鍵盤が変色 / 変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

❌ 本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

❌ 指定のスタンド以外は使用しない。また、取り付けには必ず付属のネジを使用する。
本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

❌ 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。



不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源を切りましょう。
また、使用済みの乾電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

PSR-260 の特長



楽しいレッスン機能 (Yamaha Education Suite 2)
弾きたい曲 (ソング) を選び、レッスン機能を使ってマスターしましょう。

レッスン 34 ページ

右手、左手それぞれ 3 ステップの練習方法と、両手の練習があります。

ディクショナリー 45 ページ

和音の押さえかたを教えてください。

採点 39 ページ

レッスン機能を使用したとき、あなたの演奏を 4 段階で採点してくれます。
また、音声ガイドにより、採点結果を音声でも知らせてくれます。



グランドピアノ 21 ページ

ボタン 1 つで、楽器・伴奏などがピアノ演奏に適した設定に切り替わる機能です。



DJ 24 ページ

ダンスやハウス系の伴奏に合わせて、スクラッチなど色々な効果音を出して遊ぶことができます。

微妙なニュアンスを表現できるタッチレスボ
ンス付 61 鍵キーボード。

高音質、バラエティ豊かな 100 音色 (ドラム
キット含む)。最大同時発音数 16。

いろいろな音楽ジャンルの演奏が楽しめる
100 の伴奏機能。

パネルの設定状態、コードやメロディ表示を
一目で確認できる大型液晶ディスプレイ。

音楽表現の可能性を広げる MIDI 機能。

自分の感覚でテンポの設定ができるタ
ップテンポ機能。

人の声で、機能や状態を教えてください
音声ガイド機能。

いろいろな効果音を出して遊ぶことので
きるマルチパッド。

音楽を楽しむエチケット



これは日本電子機械工業会
「音のエチケット」キャンペ
ーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所へ
の配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、
特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてし
まうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォン
をご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互
いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

もくじ

演奏の準備	6
電源の準備	6
ヘッドフォン / 外部出力端子について	7
サステイン端子について	7
MIDI 端子について	7
各部の名称	8
早見表	
ステップ 1 楽器	10
グランドピアノの音で弾いてみましょう	10
いろいろな音色で弾いてみましょう	11
DJ で遊んでみましょう	11
ステップ 2 ソング	12
ソングを鳴らしましょう	12
ステップ 3 伴奏	14
伴奏を使って演奏しましょう	14
コードを調べよう (ディクショナリー)	15
ステップ 4 レッスン	16
レッスン機能を使ってみましょう	16
基本的な操作方法 (ディスプレイの見かた)	18
楽器 (音色) を選ぶには...	21
グランドピアノで弾く	21
メトロノーム	21
メトロノームの拍子設定	22
メトロノーム音量の調節	22
テンポの設定	22
楽器を選ぶ	23
DJ で遊ぶには	24
ソングや伴奏に最適な楽器を選ぶ (ワンタッチセッティング)	26
タッチレスポンス	26
タッチ感度を変える	27
トランスポーズ	27
チューニング	28
ソングを聴くには...	29
5 曲のデモソングを聴くには	29
好きな曲を 1 曲ずつ聴くには	29
テンポの設定	30
メロディ音色の変更	30
テンポの調整	31
タップ機能	31
ソング音量	32
ソングコントロール	32
くり返し練習	33
ソングを弾いてみましょう (ソングレッスン)	34
レッスンを始めましょう	34
レッスン 1 (タイミング)	36
レッスン 2 (ウェイティング)	37
レッスン 3 (マイナスイフ)	38
レッスン 4 (ボースハンド)	38
採点機能	39

音声ガイドを活用する	40
伴奏に合わせて演奏するには...	41
伴奏を選ぶ	41
伴奏のスタート	42
シンクロスタート	42
スタート	42
タップスタート	42
伴奏のストップ	43
ストップ	43
エンディング	43
テンポの設定	43
伴奏コードの押さえ方	44
シングルフィンガー	44
フィンガード	44
コードを調べよう	45
ディクショナリーでコードを調べよう	45
コード (和音) について	46
伴奏に合わせてメロディ演奏	47
伴奏音量の設定	47
伴奏パターンの切り替え	48
イントロ	48
メイン	49
フィルイン	49
エンディング	49
マルチパッドを鳴らすには...	50
マルチパッドバンクの選びかた / 鳴らしかた	50
MIDI を使うとこんなことができる	51
MIDI について	51
MIDI を使ってできること	51
楽器リスト	52
最大同時発音数について	52
ドラムキットリスト	55
伴奏リスト / マルチパッドリスト	56
故障かな? と思ったら	57
MIDI インプリメンテーションチャート	58
オプション (別売) 商品のご紹介	59
仕様一覧	60
インデックス	61
保証とアフターサービス	62

この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって実際の仕様と異なる場合があります。



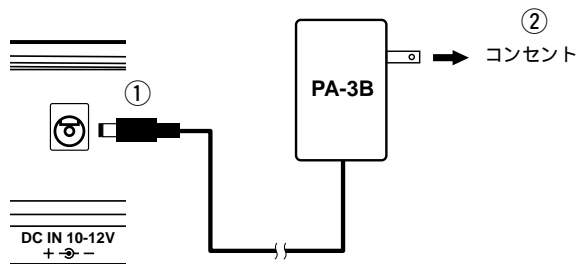
演奏の準備

■ 電源の準備

PSR-260 は、電源として、電源アダプターか乾電池をご使用になれますが、基本的には付属の電源アダプターをご使用になることをおすすめします。

家庭用コンセントから電源をとるときは

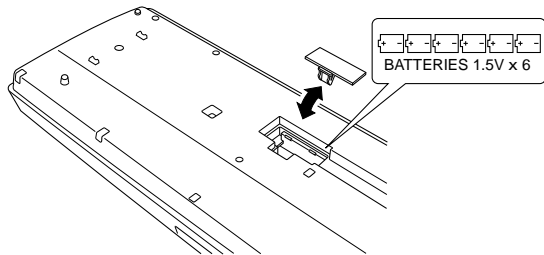
- ① リアパネルの DC IN 10-12V [電源アダプター] 端子へさし込みます。
- ② 家庭用 (AC100V) コンセントにさし込みます。



- ❗ 電源アダプターをご使用になる場合は、必ず付属の専用アダプター PA-3B をご使用ください。他の電源アダプターの使用は、故障、発熱、発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。
- ❗ 使用しないときや落雷の恐れがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

乾電池を使うときは

- ① 柔らかい布などの上で裏返します。電池ボタンをはずします。
- ② 市販の乾電池(単1乾電池)を6本入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。
- ③ 電池ボタンを閉めます。



乾電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音量が小さくなったり、音質が劣化したり、ディスプレイの表示が消えたりします。このようなときは、以下のことに注意して乾電池を交換してください。

- ❗ 乾電池はすべて + / - の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのおそれがあります。
- ❗ 乾電池は一度に全部を交換してください。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なったもの (アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品が異なるものなど) を一緒に使用しないでください。発熱、発火、液漏れの原因になります。
- ❗ 長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いてください。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

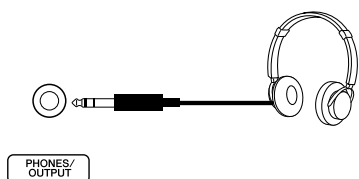
メモ

- ・乾電池が入っていても、電源アダプターが接続されると、自動的に電源アダプターから電源が供給されるようになります。
- ・乾電池が入っている状態で、電源アダプターをさし込んだり抜いたりすると、PSR-260 は電源を入れ直した状態になります。

同梱品について
PSR-260 の同梱品を確認してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 本体 ・ 電源アダプター PA-3B ・ 譜面立て ・ 和文シート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取扱説明書 ・ ソングブック ・ 保証書
--	--

■ ヘッドフォン / 外部出力端子について …

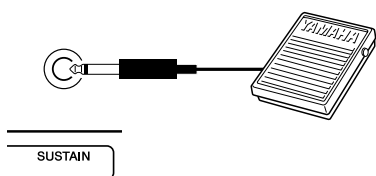


接続すると自動的に PSR-260 のスピーカーから音が出なくなります。

PHONES/OUTPUT 端子は外部出力端子にもなります。PHONES/OUTPUT 端子とキーボードアンプ、ステレオ、ミキシングコンソール、テープレコーダーなどの入力端子を接続すれば、PSR-260 の演奏を外部機器で鳴らすことができます。

- ⊘ ・大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。
- ❗ ・PSR-260 を外部機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で接続してください。感電、または機器損傷のおそれがあります。また、再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、電源を切る前や入れる前に外部機器の音量を最小にしてから接続してください。

■ サステイン端子について……………

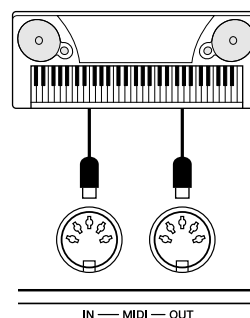


サステインとは、弾いた音に余韻を付け加える機能です。SUSTAIN(サステイン) 端子にフットスイッチ (FC4 または FC5 : 別売) を接続すると、サステインの入 / 切操作をフットスイッチで行なえます。

メモ

- ・SUSTAIN(サステイン) 端子にフットスイッチを接続してから電源を入れてください。
- ・フットスイッチを踏みながら電源を入れしないでください。踏みながら電源を入れると、入 / 切が逆になります。

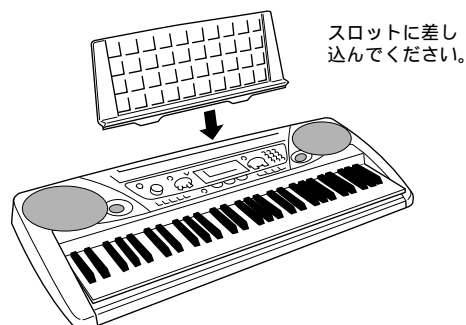
■ MIDI 端子について……………



MIDI ケーブルを使って外部機器に接続することにより、PSR-260 の演奏を録音 / 再生することができます。詳細は 51 ページをご覧ください。

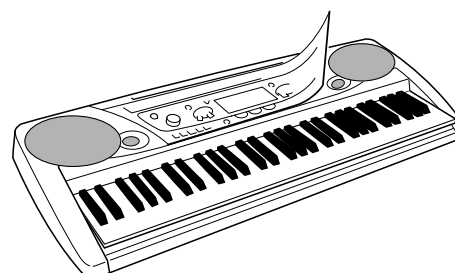
- ❗ ・MIDI ケーブルは楽器店などで買い求めください。
- ・MIDI ケーブルは 15m が限度とされています。これ以上長いケーブルをご使用になりますと、誤動作などトラブルの原因になりますのでご注意ください。

譜面立ての取り付け方



和文シート

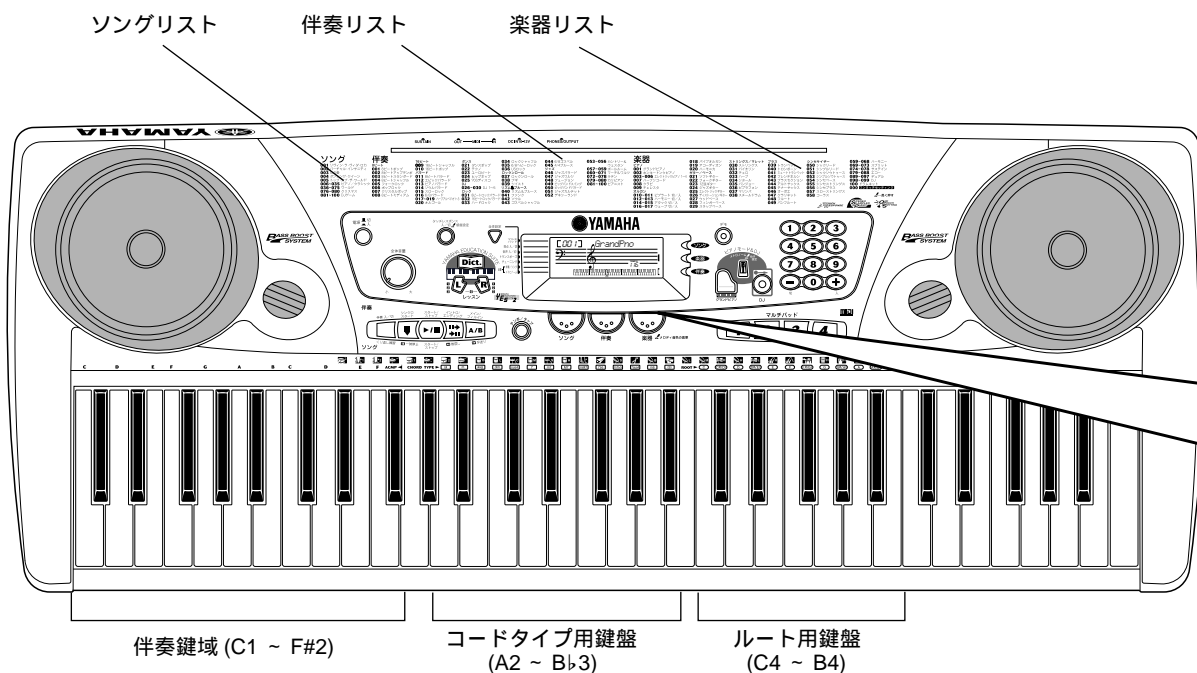
PSR-260 の本体パネルは英語で印刷されていますが、この取扱説明書では、付属の和文シートをパネルにセットした状態で説明します。





各部の名称

フロントパネル



- ① [電源入/切](STANDBY/ON) スイッチ 18 ページ
- ② [全体音量](MASTER VOLUME) 18 ページ
- ③ [タッチレスポンス入/切]
[TOUCH] ボタン 26 ページ
- ④ [Dict.](ディクショナリー)
レッスン [L], [R] ボタン 35, 45 ページ
- ⑤ [全体設定](OVERALL) ボタン 18 ページ
- ⑥ [デモ](DEMO) ボタン 29 ページ
- ⑦ 数字ボタン [0] ~ [9]、[+], [-] 19 ページ

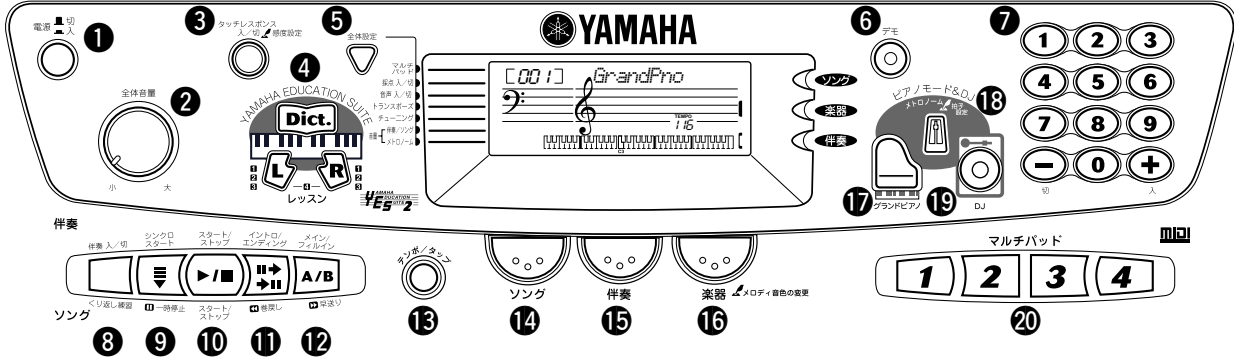
伴奏のとき

- ⑧ [伴奏入/切]
[ACCOMPANIMENT ON/OFF] ボタン 42 ページ
- ⑨ [シンクロスタート]
[SYNC START] ボタン 42 ページ
- ⑩ [スタート/ストップ]
[START/STOP] ボタン 42 ページ
- ⑪ [イントロ/エンディング]
[INTRO/ENDING] ボタン 48 ページ
- ⑫ [メイン/フィルイン]
[MAIN/AUTO FILL] ボタン 49 ページ

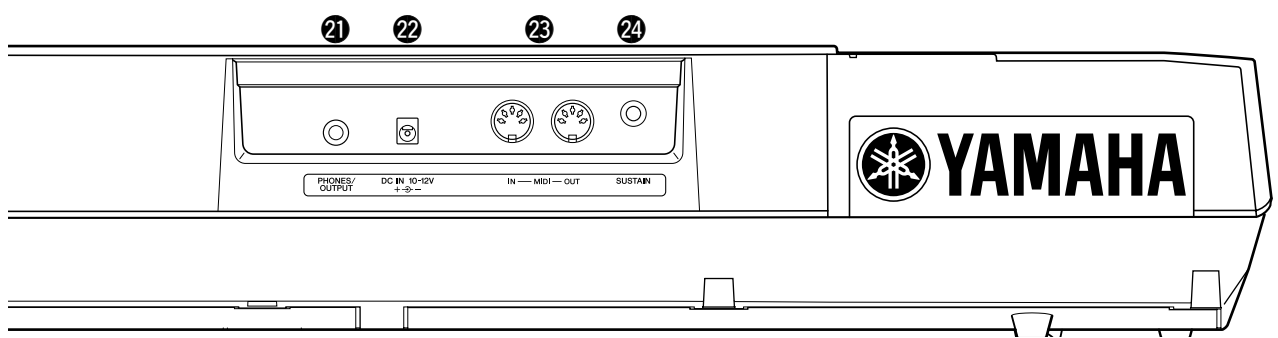
ソングのとき

- ⑧ [くり返し練習](A-B REPEAT) ボタン 33 ページ
- ⑨ [一時停止](PAUSE) ボタン 32 ページ
- ⑩ [スタート/ストップ]
[START/STOP] ボタン 32 ページ
- ⑪ [巻き戻し](REW) ボタン 32 ページ
- ⑫ [早送り](FF) ボタン 32 ページ
- ⑬ [テンポ/タップ](TEMPO/TAP) ボタン 31 ページ
- ⑭ [ソング](SONG) ボタン 29 ページ
- ⑮ [伴奏](STYLE) ボタン 41 ページ
- ⑯ [楽器](VOICE) ボタン 23 ページ
- ⑰ [グランドピアノ](Piano) ボタン 21 ページ
- ⑱ [メトロノーム](METRONOME) ボタン 21 ページ
- ⑲ [DJ] ボタン 24 ページ
- ⑳ マルチパッド (MULTI PAD)[1] ~ [4] 50 ページ

ソング	伴奏	18ビート 001 リヴィン'ラ・ヴィダ・ロカ 002 パニチャル・インウニディ 003 3の楽 004 ダンシング・クイーン 005 トップ・オブ・ザ・ワールド 006-035 ビデオ / クラッシュ 036-075 ワールド 076-080 クリスマス 081-100 ムンゲム	18ビート 009 18ビートジャッパル 010 18ビートポップ 011 18ビートファンク 012 18ビートバラード 013 18ビートジャズ 014 18ビートロック 015 18ビートファンク 016 18ビートファンク 017-019 ハーモニック 020 オルゴール	ダンス 021 ダンスポップ 022 テキサス 023 ニュービート 024 ヒップホップ 025 90年代ダンス 026-030 6/11-5 031 ロック 032 8ビートロック 033 ハードロック	034 ロックジャズ 035 8ビートロック 036 JSCロック 037 ロックロール 038 ジャズ 039 クラシック 040 リズム&ブルース 041 クラシック 042 ソウル 043 コスベルジャズ	044 8ビートブルース 045 4ビートブルース 046 ジャズバラード 047 ジャズロック 048 スムース 049 ビッグバンド 050 ビッグバンド 051 ジャズ 052 デジャヴ	053-056 カントリー&ウェスタン 057-059 ホルン 060-071 70年代 072-078 デジ 079-080 リア 081-100 ビデオ	楽器 001 グランドピアノ 002 3ピースピアノ 003-006 エレクトリックピアノ 007 ハーモニウム 008 クラビ 009 2ピース 010-011 ビデオ 012-013 ハーモニウム 014-015 タンゴ 016-017 クラビ	018 バイブ 019 アコースティック 020 ハーモニウム 021 ソフトキーボード 022 アコースティック 023 12弦ギター 024 アコースティック 025 エレクトリック 026 電子ドラム 027 ウッドベース 028 アコースティック 029 スラップベース	ストリングス 030 ストリングス 031 バイオリン 032 チェロ 033 ハープ 034 アコースティック 035 バンジョ 036 アコースティック 037 マリンバ 038 ステールドラム 039 トランペット 040 トロンボーン 041 ユーティリティ 042 シンセサイザー 043 アコースティック 044 アルトサックス 045 テナーサックス 046 ベース 047 サブ 048 ステールドラム 049 シンバル	シンセサイザー 050 シンセサイザー 051 シンセサイザー 052 シンセサイザー 053 シンセサイザー 054 シンセサイザー 055 シンセサイザー 056 シンセサイザー 057 シンセサイザー 058 シンセサイザー 059-068 ハーモニウム 069-073 スパ 074-078 サ 079-086 エ 089-097 デ 098-099 DJ 099-099 DJ 000
------------	-----------	--	--	--	--	--	---	---	--	--	--

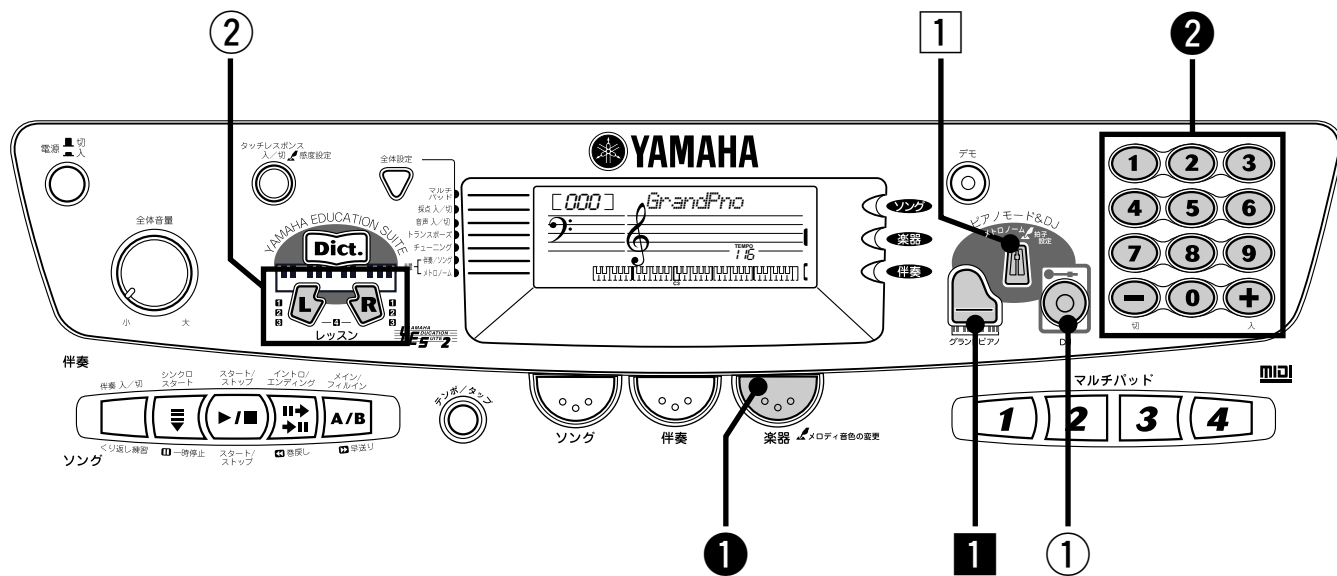


リアパネル



- 21 PHONES/OUTPUT(ヘッドフォン / 外部出力) 端子 7 ページ
- 22 DC IN 10-12V(電源アダプター) 端子 6 ページ
- 23 MIDI IN/OUT 端子 7 ページ
- 24 SUSTAIN(サステイン) 端子 7 ページ

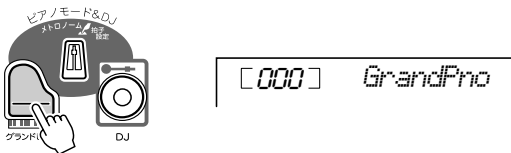
ステップ 1 楽器



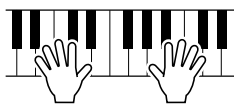
グランドピアノの音で弾いてみましょう

[グランドピアノ] (Piano) ボタンを押すと、すべての設定がピアノ演奏用に切り替わります。

1 [グランドピアノ] (Piano) ボタンを押します。



2 演奏しましょう。



詳しくは 21 ページをご覧ください。

メトロノームを鳴らしながら練習しましょう

1 [メトロノーム] (METRONOME) ボタンを押します。



詳しくは 21 ページをご覧ください。

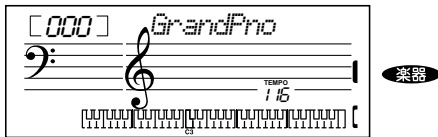
[楽器リスト]

No.	楽器名	No.	楽器名	No.	楽器名	No.	楽器名	No.	楽器名
	ピアノ	011	ビブラート入	022	フォークギター	033	ハーブ	044	アルトサクソ
001	グランドピアノ	012	ハーモニー切	023	12 弦ギター	034	シタール	045	テナーサクソ
002	ホンキートンクピアノ	013	ハーモニー入	024	ジャズギター	035	バンジョー	046	オーボエ
003	エレクトリックピアノ 1	014	アタック切	025	エレクトリックギター	036	ピブラフォン	047	クラリネット
004	エレクトリックピアノ 2	015	アタック入	026	ディストーションギター	037	マリンバ	048	フルート
005	エレクトリックピアノ 3	016	ウェーブ切	027	ウッドベース	038	スティールドラム	049	パンフルート
006	エレクトリックピアノ 4	017	ウェーブ入	028	フィンガーベース		プラス		シンセサイザー
007	ハーブシコード	018	パイプオルガン	029	スラップベース	039	トランペット	050	シックリード
008	クラビ	019	アコーディオン		ストリング/マレット	040	トロンボーン	051	シンプルリード
009	チェレスタ	020	ハーモニカ	030	ストリングス	041	ミュートトランペット	052	シックソウトウース
	オルガン		ギター/ベース	031	バイオリン	042	フレンチホルン	053	シンプルソウトウース
010	ビブラート切	021	ソフトギター	032	チェロ	043	プラスセクション	054	シンセベース

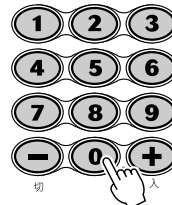
いろいろな音色で弾いてみましょう

PSR-260 には 100 種類の楽器 (音色) が入っています。好きな楽器を選んで弾いてみましょう。

① [楽器] (VOICE) ボタンを押します。

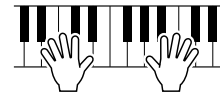


② 楽器を選びます。



[002] HnkyTonk

③ 演奏しましょう。



詳しくは 23 ページをご覧ください。

DJ で遊んでみましょう

リズムをバックに効果音を出して遊ぶことができます。

① [DJ] ボタンを押します。

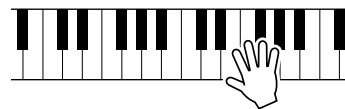


[098] DJvoicel

② レッスン [L] または [R] ボタンを押します。



③ 鍵盤を叩くように演奏すると、さまざまな効果音が鳴ります。



詳しくは 24 ページをご覧ください。

No.	楽器名
055	シンセストリングス
056	シンセプラス
057	スローストリングス
058	コーラス
	ハーモニー
059	ピアノトリオ
060	ピアノカントリー
061	エレピトリオ
062	ハーブシコードトリオ
063	オルガントリオ
064	ピブラフォンデュエット
065	トランペットデュエット

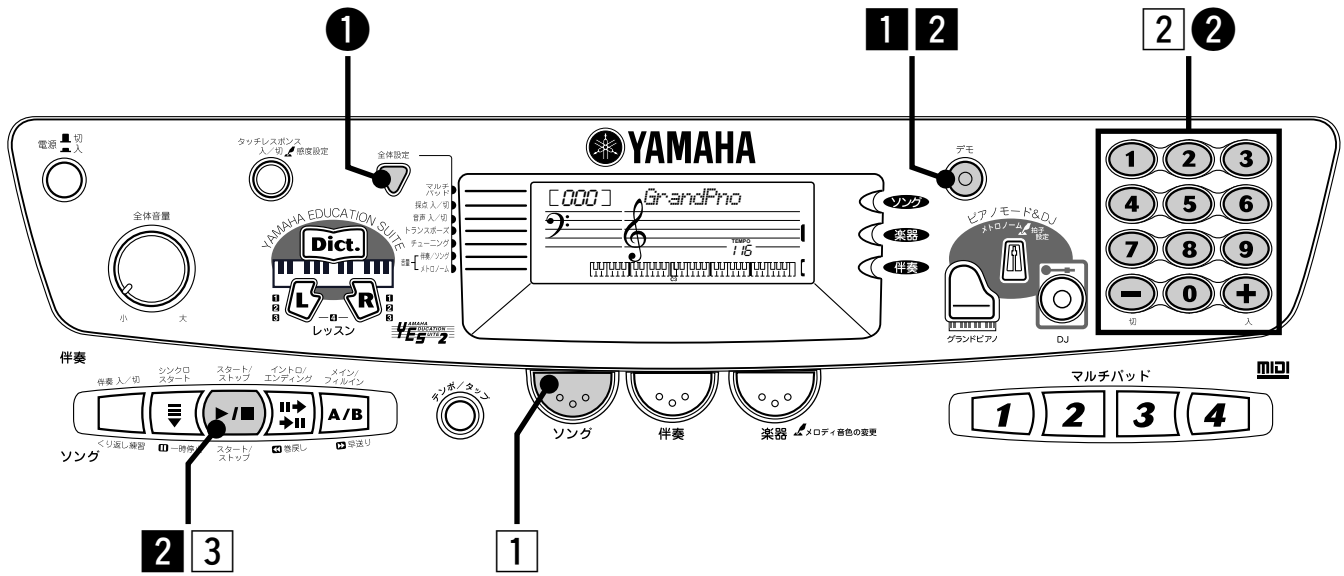
No.	楽器名
066	ホルンデュエット
067	クラリネットトリオ
068	フルートデュエット
	スプリット
069	ウッドベース / ピアノ
070	ストリングス / ピアノ
071	ベース / エレピ
072	ハーブ / バイオリン
073	ホルン / トランペット
	サステイン
074	サステインピアノ
075	サステインエレピ 1

No.	楽器名
076	サステインエレピ 2
077	サステインピブラフォン
078	サステインストリングス
	エコー
079	エコーピアノ
080	エコーエレクトリックピアノ
081	エコーハーブシコード
082	エコーチェレスタ
083	エコーフォークギター
084	エコーバンジョー
085	エコーピブラフォン
086	エコーマリンバ

No.	楽器名
087	エコースティールドラム
088	エコードラムキット
	デュアル
089	ピアノコンチェルト
090	エレピコンチェルト
091	フェアリーランド
092	ムードギター
093	リッチギター
094	ホットオルガン
095	エクセルバイオリン
096	クリスタル
097	スターシップ

No.	楽器名
	DJ
098	DJ ボイス 1
099	DJ ボイス 2
	ドラムキット
100	ドラムキット

ステップ 2 ソング

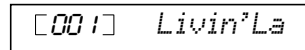


ソングを鳴らしましょう

デモソングを鳴らしましょう

5 曲のデモソングを連続して聴いてみましょう。

1 [デモ] (DEMO) ボタンを押します。



2 ソングを止めます。



または



詳しくは 29 ページをご覧ください。

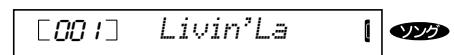
メモ

- ・ [デモ] (DEMO) ボタンを押しながら電源を入れると、[デモ] (DEMO) ボタンを押してもデモソングが鳴らないようにすることができます。電源を入れ直すと、通常の状態に戻ります。

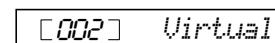
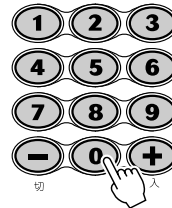
1 曲ずつ鳴らしましょう

好みの曲を選んで聴くことができます。

1 [ソング] (SONG) ボタンを押します。



2 ソングを選びます。



3 ソングをスタート / ストップします。



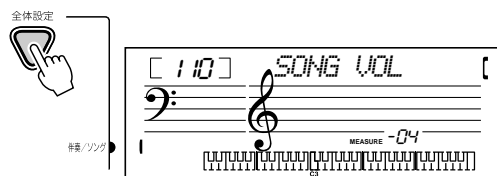
詳しくは 29 ページをご覧ください。

[ソングリスト]

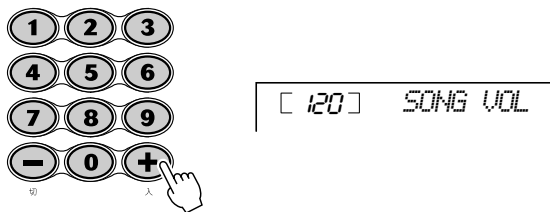
No.	ソング名	No.	ソング名
	デモ	050	なつかしのバージニア
001	リヴィン・ラ・ヴィダ・ロカ	051	テキサスの黄色いバラ
002	バーチャル・インサニティ	052	ロング・ロング・アゴー
003	心の愛	053	ロンドン橋
004	ダンシング (オリジナル)	054	故郷の人々
005	トップ・オブ・ザ・ワールド	055	かわいいオーガスティン
	ピアノ / クラシック	056	愛しのクレメンティン
006	エリーゼのために	057	浜辺の歌
007	バッハのメヌエット	058	故郷
008	モーツァルトのトルコ行進曲	059	おお、スザンナ
009	ベートーベンのトルコ行進曲	060	金髪のジェニー
010	子犬のワルツ	061	線路は続くよどこまでも
011	別れの曲	062	ロッホ・ローモンド
012	主よ、人の望みの喜びよ	063	マイ・ボニー
013	よるこびのうた	064	アルプス一万尺
014	ゴセックのガボット	065	わらの中の七面鳥
015	楽しき農夫	066	アニー・ローリー
016	バッハのポロネーズ	067	むずんでひらいて
017	バッハのベルのカノン	068	別れ
018	野ばら	069	かっこう
019	トロイメライ	070	リパブリック讃歌
020	新世界より	071	草競馬
021	春の歌	072	愛のロマンス
022	クリエーのメヌエット	073	アメリカン・パトロール
023	愛の夢第 3 番	074	茶色の小瓶
024	花の歌	075	エンターティナー
025	花のワルツ (くるみ割り人形より)		クリスマス
026	G 線上のアリア	076	ジングル・ベル
027	ます	077	きよしこの夜
028	行進曲 (くるみ割り人形より)	078	もろびとこぞりて
029	ユーモレスク	079	もみの木
030	ピチカートポルカ	080	ひいらぎかざろう
031	シューベルトのアヴェマリア		DJ ゲーム
032	グノーのアヴェマリア	081	ユーロテクノ
033	モーツァルトの子守歌	082	フレア
034	シューベルトの子守歌	083	グランド
035	ブラームスの子守歌	084	アシッドハウス
	ワールド (世界の歌)	085	ポップレゲエ
036	きらきら星	086	ラガ
037	大きな古時計	087	シェイキン
038	夢見る君	088	デジタルロック
039	グリーンスリーブス	089	スパバッド
040	春の日の花と輝く	090	アンビエント
041	ちょうちょう	091	アシッドテクノ
042	埴生の宿	092	ソウルフル
043	アメージング・グレース	093	ドラム&ベース 1
044	オーラ・リー	094	ドラム&ベース 2
045	ケンタッキーのわが家	095	ハードステップ 8th
046	アロハ・オエ	096	ファンキートリップホップ
047	ローレライ	097	ハイブ
048	ロンドンデリーの歌	098	ビートボックス
049	蛍の光	099	ファンクアップ
		100	オールザット

ソング音量を変更して、
鍵盤演奏とのバランスをとりましょう。

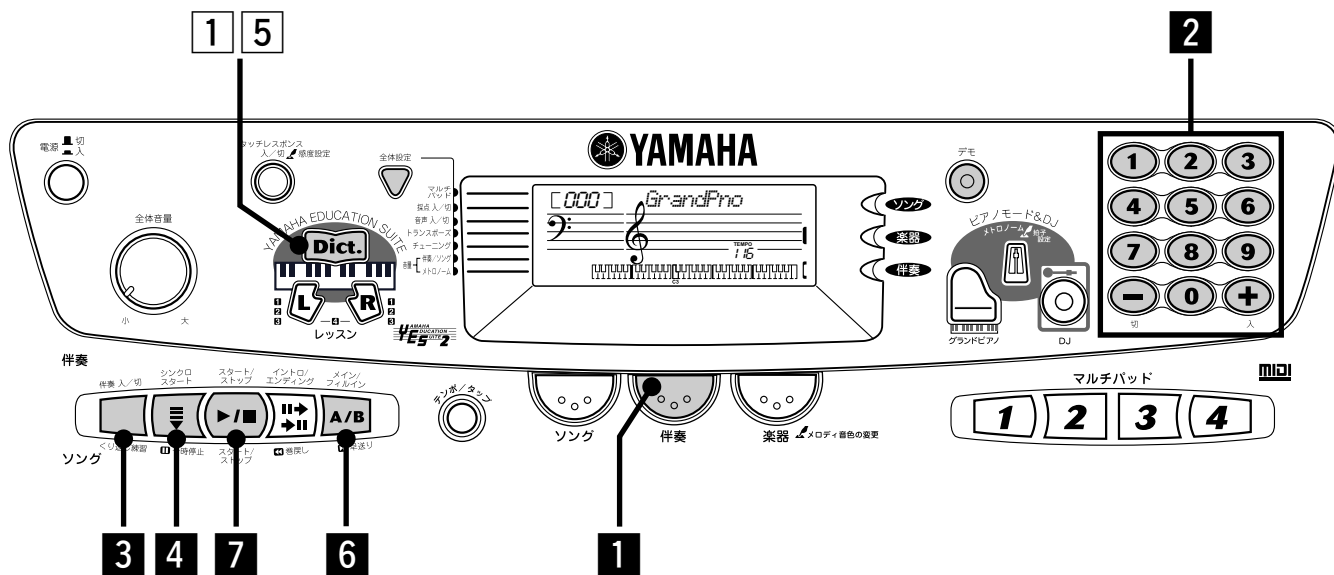
- ① [全体設定](OVERALL)ボタンを押して、「伴奏/ソング音量」(ACMP/SONG VOLUME)にアイコン (I) を合わせます。



- ② 数字ボタン [0] ~ [9], [+], [-] を押して、ソングの音量を変更します。



詳しくは 32 ページをご覧ください。



伴奏を使って演奏しましょう

伴奏機能は、左手でコード（和音）を押さえるだけで、そのコード（和音）に合った伴奏が鳴る機能です。伴奏をバックにメロディを演奏しましょう。

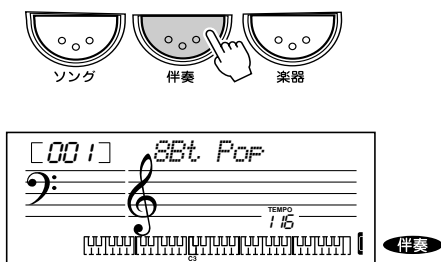
メモ

- ・コードの押さえ方は「伴奏コードの押さえ方」（44 ページ）や、「コードを調べよう」（45 ページ）をご覧ください。

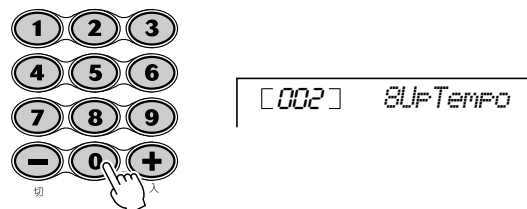


左手 + 右手
コード演奏 + メロディ演奏 (例：ピアノ)
伴奏 (例：ベース + ギター + ドラム)

1 [伴奏] (STYLE) ボタンを押します。



2 好みの伴奏を選びます。
(伴奏リストは、56 ページ)

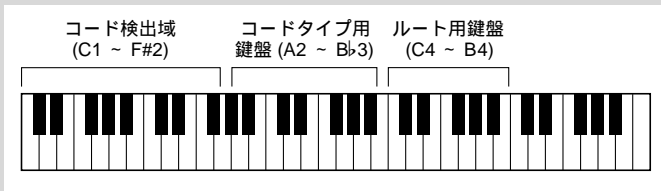


3 伴奏を「入」にします。



コードを調べよう (ディクショナリー)

コード (和音) 名がわかっていて、コードの弾き方がわからないとき、「ディクショナリー機能」が役立ちます。

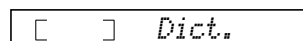


コードの押さえ方を勉強しましょう

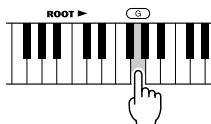
コード例



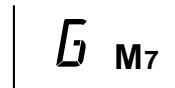
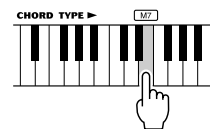
- 1 [Dict.](ディクショナリー) ボタンを押します。



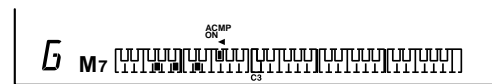
- 2 知りたいコードのルート音 (根音) を押します。



- 3 知りたいコードのコードタイプを押します。



- 4 ディスプレイの鍵盤ガイドにしたがって、鍵盤 (コード検出域) を押さえます。
正しく押さえると、ディスプレイのコード名が点滅します。



- 5 ディクショナリー機能を終了するときは、もう 1 度 [Dict.](ディクショナリー) ボタンを押します。



詳しくは 45 ページをご覧ください。

- 4 シンクロスタートを「入」にします。

伴奏



- 5 コード (左手) を演奏します。
伴奏がスタートします。
「コードを調べよう」(45 ページ) を活用します。



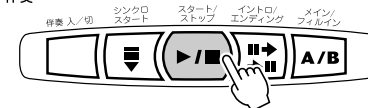
- 6 好みの伴奏パターンに切り替えます。

伴奏



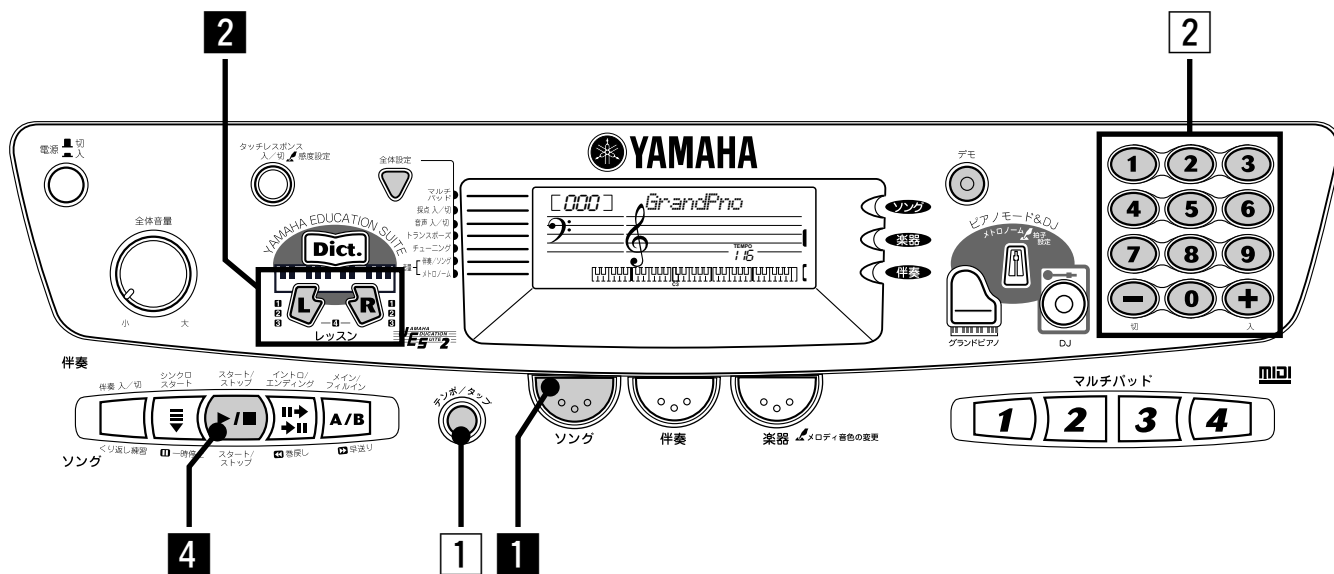
- 7 伴奏をストップします。

伴奏



詳しくは 41 ページをご覧ください。

ステップ 4 レッスン



レッスン機能を使ってみましょう

100 曲のソングの中から、気に入った曲を見つけたら、この機能を使ってソングを弾けるようになります。右手を練習するときは [R] ボタン、左手を練習するときときは [L] ボタンを押します。右手・左手ともに以下のレッスン機能で練習ができます。

- レッスン 1 「タイミング」..... 鍵盤を弾くタイミングを練習します。
- レッスン 2 「ウェイティング」..... ディスプレイの音符どおりに正しく鍵盤を弾く練習をします。
音符どおりの鍵盤が弾かれるまで、進まず待っていてくれます。
- レッスン 3 「マイナスイオン」..... カラオケのように伴奏に合わせて弾く練習をします。
- レッスン 4 「ポーズハンド」..... レッスン 3 で右手、左手が弾けるようになったら、両手で弾く練習をします。

1 レッスン曲を選びます。
ソングの選び方は 19 ページをご覧ください。



2 レッスン方法を選びます。
右手の練習には [R] ボタン、左手の練習には [L] ボタンを押します。両手で練習するときには、[R], [L] ボタンを同時に押します。

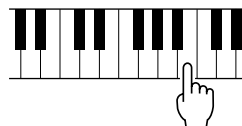


[r l] Timing

メモ

・ [L] または [R] ボタンを押したとき、レッスン 1 レッスン 2
レッスン 3 「切」(ソング) レッスン 1...の順番で変わります。

3 鍵盤を弾きます。



4 レッスンを終わります。

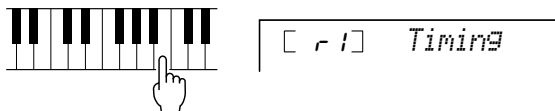


メモ

・ レッスン 4 「ポーズハンド」へ入るときは、[L], [R] ボタンを同時に押します。

レッスン 1：タイミング

鍵盤を弾くタイミングを練習します。
レッスン 1 では、どの鍵盤を弾いてもかまいません。
メロディのタイミングどおりに、好きな鍵盤を弾きます。



詳しくは 36 ページをご覧ください。

レッスン 2：ウェイティング

音符どおりに正しく鍵盤を弾く練習をしましょう。
ディスプレイの音符どおりに正しい鍵盤が押されるまで、
伴奏は進まず待ってくれます。



詳しくは 37 ページをご覧ください。

レッスン 3：マイナスイワン

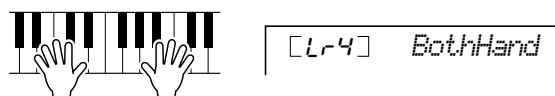
伴奏はカラオケのようにテンポどおりに進んでいきます。
伴奏に合わせて弾いてみましょう。



詳しくは 38 ページをご覧ください。

レッスン 4：ボースハンド

両手で弾く練習をします。



詳しくは 38 ページをご覧ください。

レッスン 1 から 4 まで、レベルに応じてチャレンジしてください。

採点機能

レッスンが終わると、その演奏を PSR-260 が採点します。
演奏終了後、ディスプレイに「OK」「Good」
「VeryGood」「Excellent」と、4 段階で評価してくれます。

詳しくは 39 ページをご覧ください。

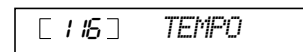
音声ガイド

機能名、レッスン名や採点の結果を音声で教えてくれます。

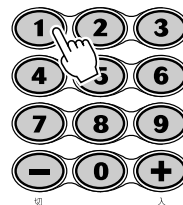
詳しくは 40 ページをご覧ください。

テンポ (速さ) を変えてみましょう

- 1 [テンポ / タップ](TEMPO/TAP) ボタンを押します。



- 2 数字ボタン [0] ~ [9], [+], [-] を押して、テンポを変更します。



メモ

・ボタンを押すタイミングでテンポを設定できるタップ機能があります。詳しくは 31 ページをご覧ください。



基本的な操作方法 (ディスプレイの見かた)

電源 入

[電源入/切](STANDBY/ON)スイッチを押すと、電源が入ります。もう一度押すと電源が切れます。



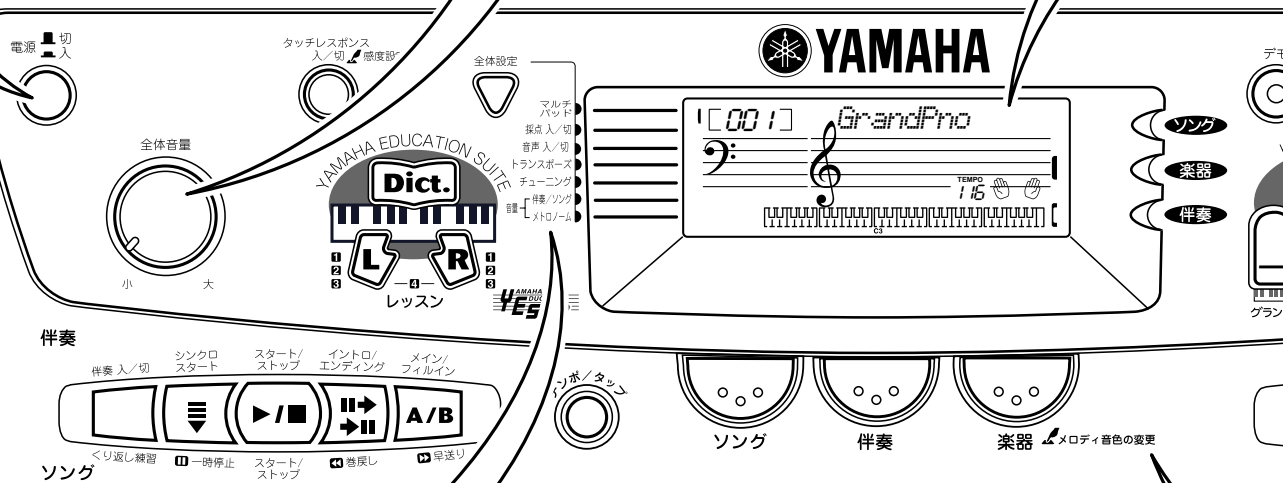
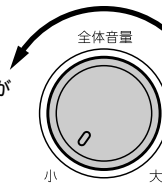
・スイッチが「切」の状態でも微電流が流れています。PSR-260を長時間使用しないときは必ず電源アダプターを抜いてください。また、乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜いてください。

音量の調節

[全体音量](MASTER VOLUME)を回します。

左に回すと、音量が小さくなります。

右に回すと、音量が大きくなります。



全体設定 (OVERALL) 表示

全体設定 (OVERALL) では、PSR-260 のさまざまな設定が行なえます。

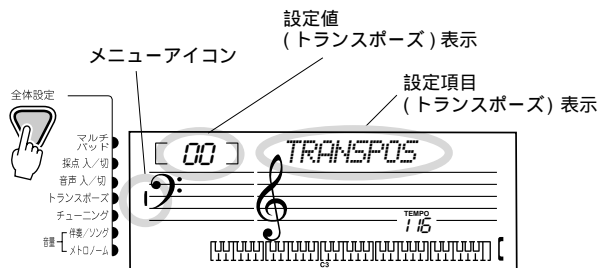
全体設定



- マルチパッド
 - 採点入/切
 - 音声入/切
 - トランスポーズ
 - チューニング
 - 伴奏 / ソング
 - メトロノーム
- | | |
|-------------|--------|
| ・マルチパッド | 50 ページ |
| ・採点入/切 | 39 ページ |
| ・音声入/切 | 40 ページ |
| ・トランスポーズ | 27 ページ |
| ・チューニング | 28 ページ |
| ・伴奏 / ソング音量 | 32 ページ |
| ・メトロノーム音量 | 22 ページ |

全体設定 (OVERALL) ボタンを押すと、ディスプレイ左端の設定変更アイコン (i) が移動し、ディスプレイには現在選ばれている「設定項目」と「設定値」が表示されます。

例) トランスポーズの場合

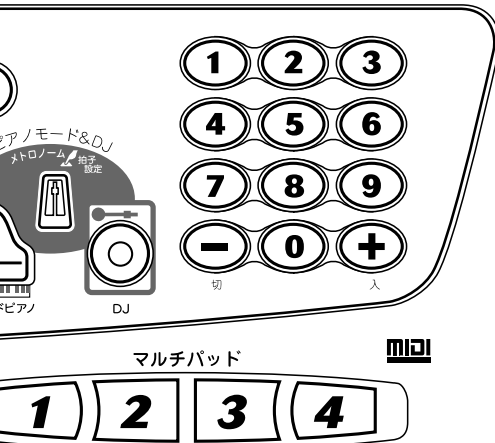
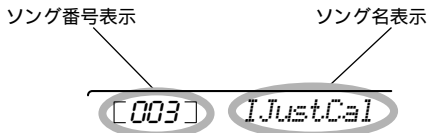


基本的な操作方法 (ディスプレイの見かた)

名前 & 番号表示 (ソング / 伴奏 / 楽器)

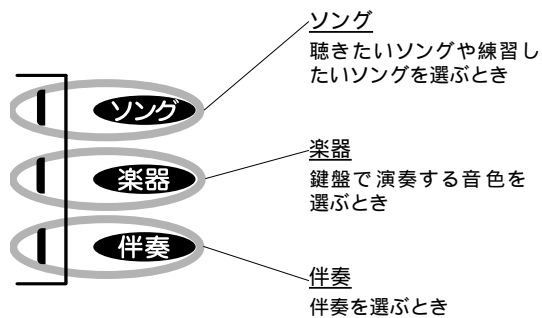
ディスプレイには、現在選ばれている機能の「名前と番号」が表示されます。

例) ソングの場合



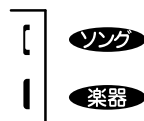
基本的な機能の選びかた

[ソング]、[伴奏]、[楽器] ボタンを押すと、基本的な機能を選ぶことができます。(選ばれている機能のアイコンが表示されます。)

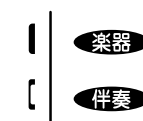


ソングや伴奏を選んだあとに楽器を選ぶと、次のような表示になります。

ソングで鍵盤の音色を選ぶ場合

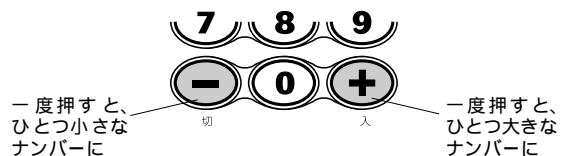


伴奏で鍵盤の音色を選ぶ場合



ナンバーの選びかた

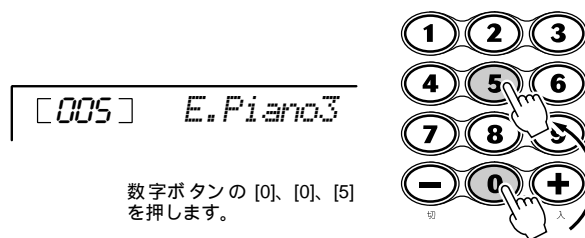
ナンバーをひとつずつ変えるには、数字ボタン [+], [-] を使用します。



押し続けると、ナンバーが連続で増減します。

直接ナンバーを選ぶには、数字ボタン [0] ~ [9] を使用します。

例) 「005 エレクトリックピアノ 3」を選ぶ場合



数字ボタンの [0], [0], [5] を押します。

メモ

・「100 の位」が [0] の場合、0 を省略できます。同様に、「100 の位」と「10 の位」が [0] の場合も、[00] を省略して入力できます。

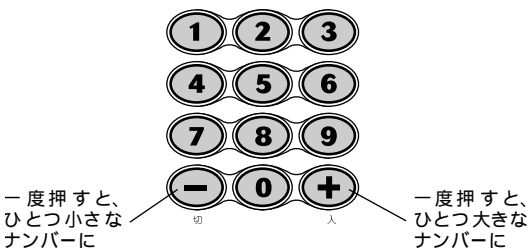
長く押す (PRESS AND HOLD FOR A WHILE.)



この機能の付いたボタンを 1 秒以上押し続けると、そこに書かれた別機能に移ります。

設定値の変えかた

設定値の変更は、数字ボタン [0] ~ [9], [+], [-] を使用します。



押し続けると、ナンバーが連続で増減します。

基本的な操作方法 (ディスプレイの見かた)

音符表示

通常は押した鍵盤の譜面上の位置や、押したコードの構成音を表示します。ディクショナリー機能のときはコードの構成音を表示します。



メモ

- ・1音でもオクターブ上の音が存在する場合は五線譜の上に「8va」が、オクターブ下の音が存在する場合は五線譜の下に「8va」が表示されます。
- ・表示の制約により、和音の一部が表示されない場合があります。

テンポ (TEMPO)/ 小節 (MEASURE) 表示

「TEMPO」表示のときは伴奏やソングなどのテンポ (曲の速さ) を、「MEASURE」表示のときはソングの小節番号を表示します。

TEMPO
116
MEASURE 003

メトロノーム表示

メトロノームがスタートすると、拍番号を表示します。



ビート表示

伴奏やソングのビート (拍) を、手拍子のアイコンで表示します。



コード表示

ソングで使われているコードや、鍵盤で押さえたコード名などを表示します。



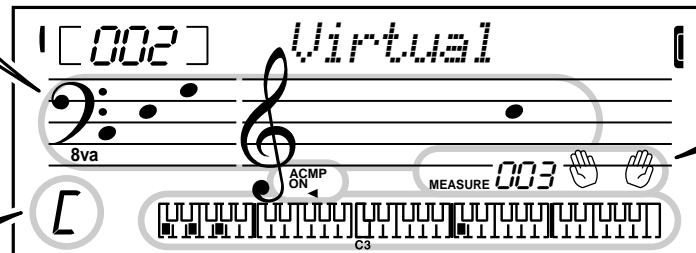
伴奏入 (ACCOMPANIMENT ON) 表示

伴奏機能の入 / 切を表示します。



鍵盤表示

通常は押した鍵盤の位置を表示します。伴奏を使用したときと、ディクショナリーを使用したときは、コードの構成音を表示します。



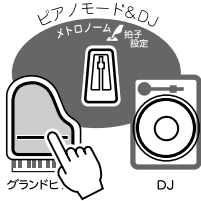


楽器 (音色) を選ぶには...

グランドピアノで弾く

PSR-260 はさまざまな機能を持っていますが、「とにかくピアノの練習をしたい」というときには、[グランドピアノ](Piano) ボタンを押します。

[グランドピアノ](Piano) ボタンを押すと、PSR-260 のすべての設定がピアノ演奏用に切り替わります。



[グランドピアノ] ボタンを押して設定される内容

- ・楽器001 グランドピアノ
- ・伴奏「切」
- ・テンポ 136
- ・ソング「006 エリーゼのために」
 [スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すと「エリーゼのために」を再生 : ソングの「006 ~ 035 ピアノ / クラシカル」にはピアノ演奏に適した曲が入っています。
- ・伴奏「2beat」
 [伴奏](STYLE) ボタンを押します。
 [伴奏入 / 切](ACCOMPANIMENT ON/OFF) ボタンを押します。
 [スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押して、コードを押さえると「2beat」の伴奏が鳴る : 伴奏の「081 ~ 100 ピアニスト」にはピアノ伴奏に適した伴奏が入っています。

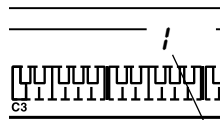
■ メトロノーム.....

[メトロノーム](METRONOME) ボタンを押すと、ソングや伴奏のテンポに合わせてメトロノームの音が鳴ります。ピアノの練習に活用しましょう。メトロノームは1拍目に高い音が鳴ります。

もう一度押すとメトロノームの音がストップします。



・メトロノームの速さは「テンポの調整」で調整します。(31ページ参照)



拍番号を表示します。

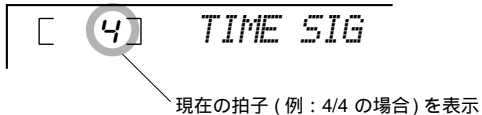
楽器 (音色) を選ぶには...

●メトロノームの拍子設定

[メトロノーム](METRONOME) ボタンを1秒以上押し続けると、メトロノームの拍子設定画面になります。数字ボタン [0] ~ [9], [+], [-] を押して、拍子を設定します。

メモ

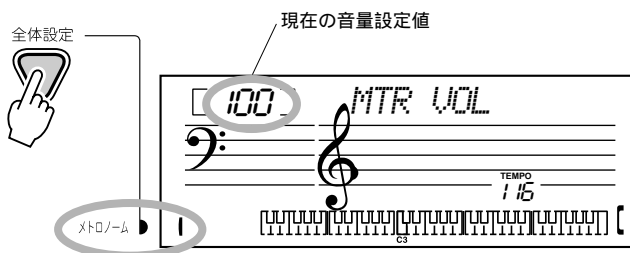
- ・拍子を「0」に設定すると「高い音が鳴らない状態」になります。
- ・拍子の設定はメトロノーム機能が「入」の状態、設定することができます。
- ・伴奏やソングの再生中は拍子は変更できません。
- ・伴奏やソングを変更すると、拍子は自動的に切り替わります。



数字ボタン	拍子
1	1/4 (すべての拍で高い音)
2	2/4
3	3/4
4	4/4
5	5/4
6	6/4
7	7/4
8	8/4
9	9/4
0	- (高い音が鳴らない状態)

●メトロノーム音量の調整

① [全体設定](OVERALL) ボタンを押して、「メトロノーム音量」(METRONOME VOLUME) を選びます。



② 数字ボタン [0] ~ [9], [+], [-] を押して、メトロノームの音量を 000 ~ 127 の範囲で変更します。

メモ

- ・数字ボタン [+], [-] を同時に押すと、初期設定値の「100」に戻ります。



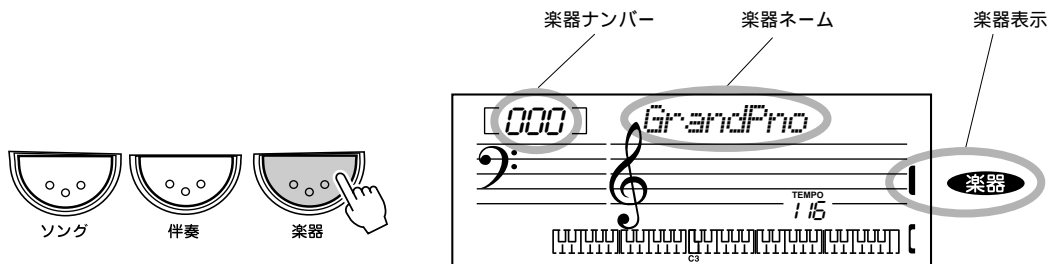
●テンポの設定

テンポを変更する場合は、[テンポ/タップ](TEMPO/TAP) ボタンを押して、数字ボタン [0] ~ [9], [+], [-] を使って変更します。(31 ページ参照)

楽器を選ぶ

PSR-260 には、先進の AWM(アドバンスド・ウェーブ・メモリー) 音源を利用した高品質な 100 種類の音色が入っています。100 音色の中には、以下のように効果付きの音色もあります。

1 [楽器](VOICE) ボタンを押します。



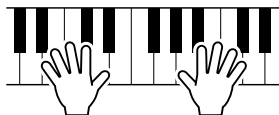
2 数字ボタン [0] ~ [9], [+], [-] で楽器番号を選びます。 ナンバーの選びかた (19 ページ参照)

メモ

・ワンタッチセッティング (000) とは、伴奏やソングを選んだとき、自動的に最適な楽器が選ばれる機能です。

3 演奏してみましょう。

いろいろな楽器を選んで演奏してみましょう。



メモ

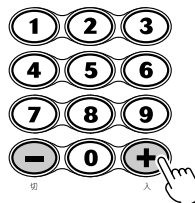
・PSR-260 の最大同時発音数は 16 音です。デュアル音色などを利用して演奏すると 2 倍の発音数を使用するため、残りの発音数に注意する必要があります。同時発音数には伴奏やソングなどの発音も含まれます。最大同時発音数を越えると、ある音が途中で消えたり鳴らなくなったりすることがあります。

・オルガンバリエーション

- ① 10 番の楽器を選びます。
オルガンの音が鳴ります。
- ② 数字ボタン [+] を押します。
オルガンの音にビブラートがかかります。
- ③ 数字ボタン [-] を押します。
ビブラートが「切」になります。

オルガン

010~011 ビブラート 切/入
012~013 ハーモニー 切/入
014~015 アタック 切/入
016~017 ウェーブ 切/入



メモ

・同様に、ハーモニーの入 / 切、アタックの入 / 切、ウェーブの入 / 切にも使用できます。

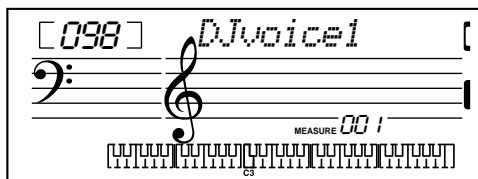
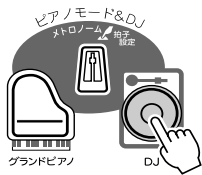
楽器 (音色) を選ぶには...

DJ で遊ぶには

伴奏をバックにさまざまな効果音を鳴らして、DJ のような演奏を楽しむことができます。また、レッスン機能を使って DJ 演奏を楽しむこともできます。

1 [DJ] ボタンを押します。

ソングには DJ ソングが、楽器には DJ が自動的に選ばれます。



2 [L] または [R] ボタンを押してレッスンをスタートします。

レッスンのステップ (1 ~ 3) を選びます。

DJ レッスンでは、右手 / 左手の区別がありません。レッスン 4 は、レッスン 3 と同じ機能になります。

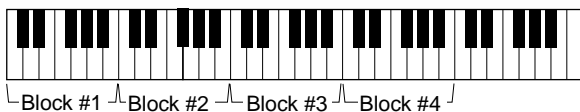


レッスン 1 では、どの鍵盤を叩いてもかまいません。

レッスン 2, 3 では、ディスプレイに表示されるブロックの鍵盤を叩いてください。



・マルチパッドも、鍵盤同様に使用できます。

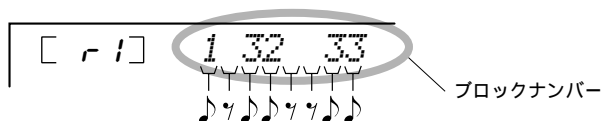


または



ディスプレイには、鍵盤を叩くタイミングが表示されます。

(音声入 / 切が「入」になっている場合、レッスン 2 ではブロック番号を声でも教えてくれます。)



・ 3 → 1
同じ位置にブロック番号が 2 回表示された場合は、その数字のブロックを表示された順番に 16 分音符で叩いてください。(16 分音符のリズムで、ブロック 3 1 と叩く。)

・ 3 → =
同じ位置に "=" (イコール) が表示された場合は、"=" の前に表示したブロックを、8 分音符より早いタイミングで、続けて叩いてください。

3 [START/STOP](スタート/ストップ)ボタンを押してレッスンを終了します。

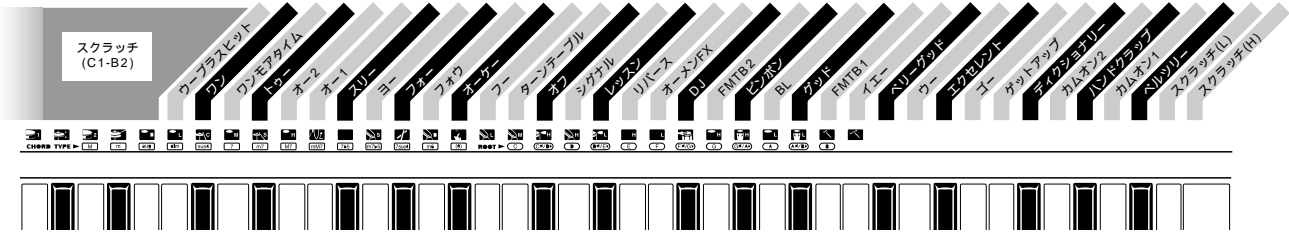
メモ

- DJ ソングを変えたり、楽器を変えて(楽器ナンバー098, 099)演奏してみましょう。

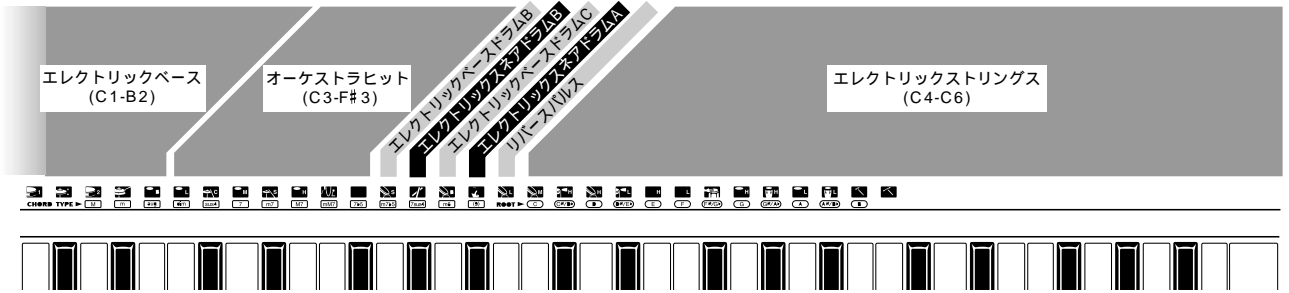


DJ の音を鍵盤で鳴らす (DJ セット)

例) 098 DJ set1(DJセット1)



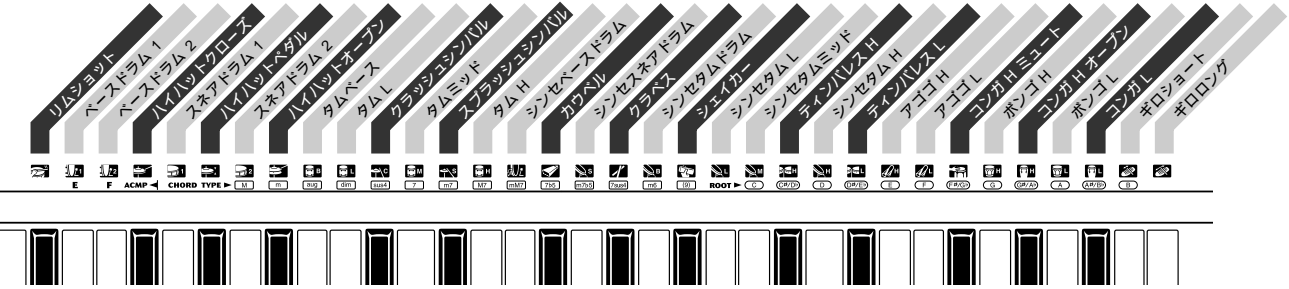
例) 099 DJ set2(DJセット2)



ドラムキットについて

楽器ナンバー「100 ドラムキット」を選ぶと、ドラム / パーカッションの音色が以下のようにセットされます。

【ドラム / パーカッションリスト】

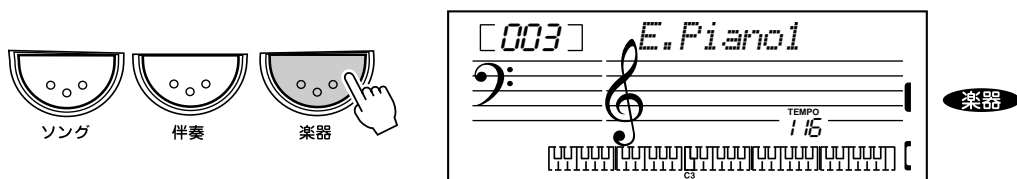


楽器 (音色) を選ぶには...

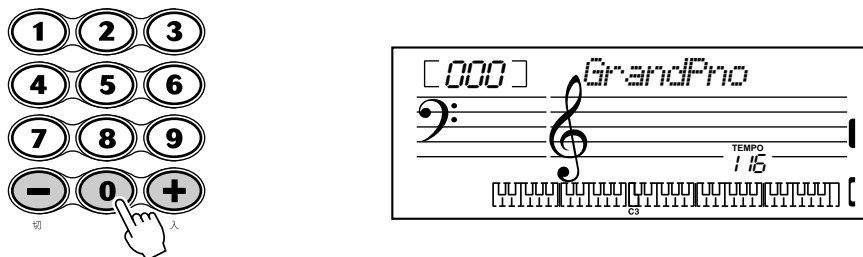
ソングや伴奏に最適な楽器を選ぶ (ワンタッチセッティング)

ワンタッチセッティングは、ソングや伴奏を選んだときに、自動的に最適な楽器を選ぶ機能です。

- 1 [楽器] (VOICE) ボタンを押します。
現在選ばれている楽器名が表示されます。



- 2 数字ボタン [0], [+], [-] で、楽器ナンバー「000」を選びます。
これで、ワンタッチセッティングが「入」になります。



タッチレスポンス

[タッチレスポンス 入 / 切] (TOUCH) ボタンを押すと、タッチレスポンスが「入」になり、鍵盤を押す強弱で、音量を変化させることができます。



[on] TOUCH

タッチレスポンスが「入」の場合のタッチ感度 (鍵盤を押さえる強さによって、音量が変化する割合) を設定することができます。必要に応じてタッチ感度を変更してください。
(次ページ参照)



[off] TOUCH

もう一度 [タッチレスポンス 入 / 切](TOUCH) ボタンを押すと、タッチレスポンスが「切」になり、鍵盤を押す強弱に関わらず一定音量で演奏できます。

■ タッチ感度を変える.....

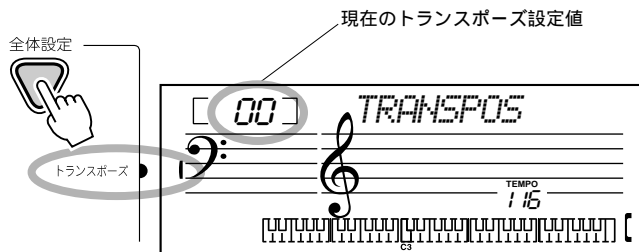
[タッチレスポンス 入 / 切](TOUCH) ボタンを 1 秒以上押し続けると、タッチ感度設定画面になります。数字ボタン [1] ~ [3], [+], [-] を押して、タッチ感度を設定します。「1」はタッチ感度が鈍くタッチの強弱による音量の差はあまりありません。「2」(初期設定)は感度が中くらい。「3」は感度が鋭く、ダイナミックレンジが広がるので豊かな演奏表現ができます。この場合、大きな音量がほしいときは強く弾く必要があります。



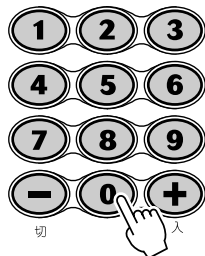
トランスポーズ

楽器全体の音程 (トランスポーズ) を変更します。

- 1 [全体設定](OVERALL) ボタンを押して、「トランスポーズ」(TRANSPOSE) を選びます。



- 2 数字ボタン [0] ~ [9], [+], [-] を押して、トランスポーズの値を - 12 ~ 12 (単位: 半音、± 1 オクターブ) の範囲で変更します。



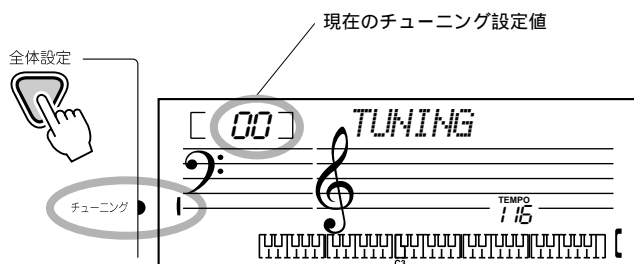
メモ

- ・数字ボタン [+], [-] を同時に押すと、初期設定値の「00」に戻ります。
- ・楽器に #088、#098、#099、#100、を選んだ場合、トランスポーズはかかりません。
- ・ソングの再生中は、トランスポーズの変更はできません。
- ・トランスポーズ変更後、次に弾いた音から新しく設定したトランスポーズで発音します。
- ・マイナスの値を設定するときは、[-] ボタンを押しながら数字ボタン [0] ~ [9] で設定します。

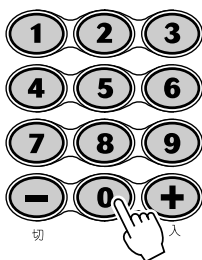
チューニング

楽器全体をチューニング (ピッチ [音程] の微調整) します。

- 1 [全体設定] (OVERALL) ボタンを押して、「チューニング」(TUNING) を選びます。



- 2 数字ボタン [0] ~ [9], [+], [-] を押して、チューニングの値を -50 ~ 50 (単位: セント) の範囲で変更します。



メモ

- ・チューニングの単位: 半音 = 100 セント
- ・数字ボタン [+], [-] を同時に押すと、初期設定値の「00」に戻ります。
- ・マイナスの値を設定するときは、[-] ボタンを押しながら数字ボタン [0] ~ [9] で設定します。

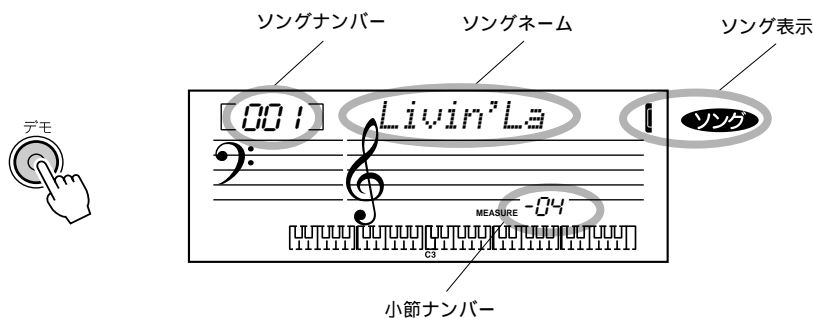


ソングを聴くには...

PSR-260 には、バラエティー豊かなソングが 100 曲入っています。好きなソングを探して聴いてみましょう。

5 曲のデモソングを聴くには...

[デモ](DEMO) ボタンを押します。
5 曲のデモソングをソングナンバー順に、連続して再生します。



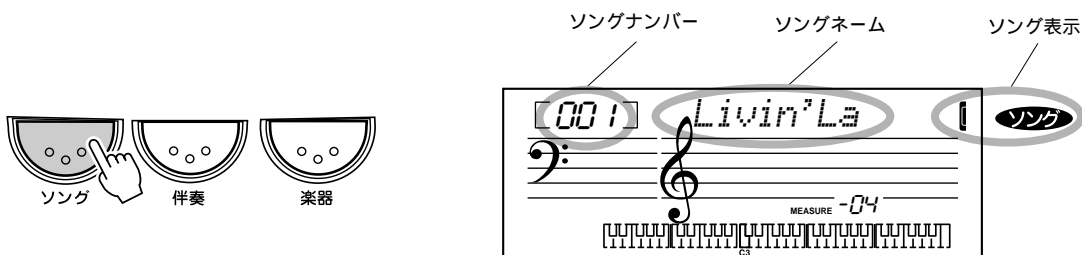
メモ

- ・ [デモ](DEMO) ボタンを押したあと、ある曲を選ぶと、そのカテゴリー曲を順番に演奏します。たとえば、ピアノ曲を聴きたい場合は、[デモ](DEMO) ボタンを押したあと、数字ボタンで「006」を選びます。
- ・ [デモ](DEMO) ボタンを押しながら電源を入れると、デモソングが鳴らなくなります。(デモキャンセル) 電源を入れ直すと、通常の状態に戻ります。

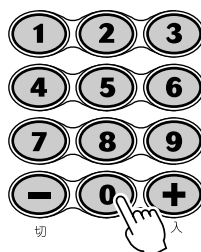
[スタート / ストップ](START/STOP) ボタン、または [デモ](DEMO) ボタンを押すと、ソングがストップします。

好きな曲を 1 曲ずつ聴くには...

1 [ソング](SONG) ボタンを押します。



2 数字ボタン [0] ~ [9], [+], [-] でナンバーを選びます。
ナンバーの選びかた (19 ページ参照)

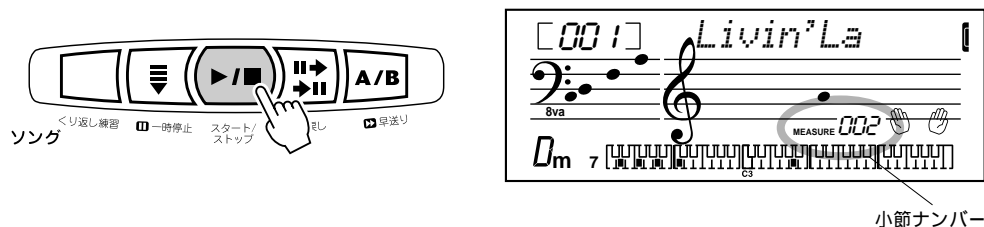


ソングを聴くには...

3 [スタート / ストップ](START/STOP) ボタンを押します。

ソングがスタートします。ソングに合わせて鍵盤で演奏できます。

もう一度 [スタート / ストップ](START/STOP) ボタンを押すと、ソングがストップします。



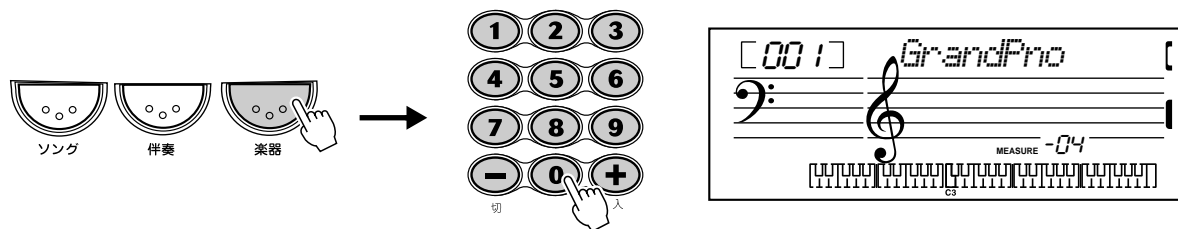
■ テンポの設定

テンポを変更する場合は、[テンポ / タップ](TEMPO/TAP) ボタンを押して、数字ボタン [0] ~ [9], [+], [-] を使って変更します。または、タップ機能を使ってテンポを設定します。(31 ページ参照)

メロディ音色の変更

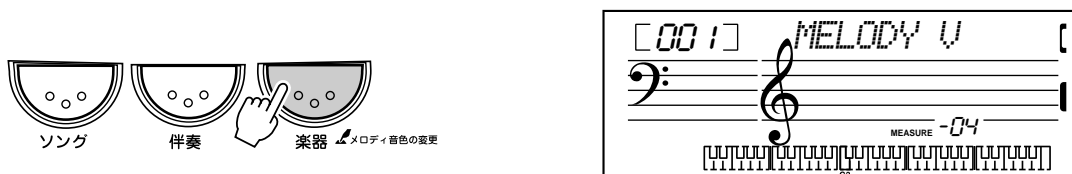
ソングのメロディ音色を、PSR-260 の 100 音色から選択することができます。

- 1 ソングを聴いているとき、メロディ音色を変更したい場合は、[楽器](VOICE) ボタンを押し、数字ボタン [0] ~ [9], [+], [-] で好みの楽器を選びます。



鍵盤は、選ばれた楽器で鳴ります。

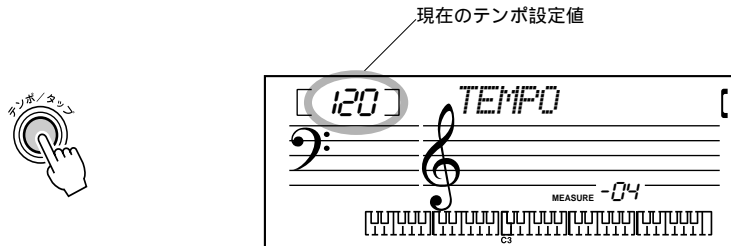
- 2 [楽器](VOICE) ボタンを 1 秒以上押し続けます。「MELODY VOICE CHANGE」とディスプレイに表示されたあと、ソングのメロディ音色が選んだ楽器に変わります。



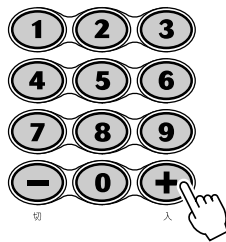
テンポの調整

ソング / 伴奏のテンポを「♩=40 ~ 240(1分間の4分音符の数)」の範囲で調整します。

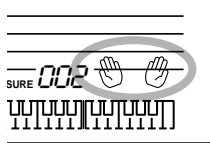
1 [テンポ / タップ] ((TEMPO/TAP) ボタンを押します。



2 数字ボタン [0] ~ [9], [+], [-] を押して、テンポを変更します。



ビートディスプレイについて
メトロノームを鳴らしているときは、ビート (拍) を表示します。



	小節の頭の拍を表します。 (ダウンビート)
	裏拍を表します。 (アップビート)
	小節の頭以外の ダウンビートを表します。

■ タップ機能.....

ボタンを押したタイミングでテンポを設定できます。

4拍子なら4回、3拍子なら3回、自分の感覚で [テンポ / タップ] (TEMPO/TAP) ボタンを押します。



メモ

- ・リズムがストップしているときに伴奏を選ぶと、その伴奏に最適なテンポが自動的に設定されます。リズム演奏中に伴奏を変更した場合は、テンポは変わりません。
- ・ソングを選ぶと、そのソングに最適なテンポが自動的に設定されます。
- ・数字ボタン [+], [-] を同時に押すと、現在選ばれているソング / 伴奏に最適なテンポ値が設定されます。

メモ

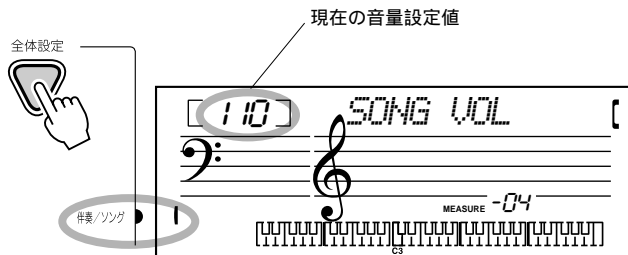
- ・タップ機能は、ソング / 伴奏再生中でも使うことができます。

ソングを聴くには...

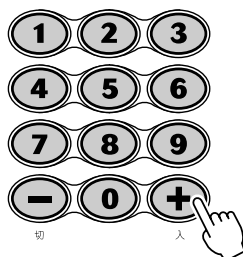
ソング音量

ソングの音量を変更して、鍵盤演奏とのバランスをとります。

- 1 [全体設定](OVERALL) ボタンを押して、「伴奏 / ソング音量」(ACMP/SONG VOLUME) を選びます。



- 2 数字ボタン[0]~[9], [+], [-]を押して、ソングの音量を000~127の範囲で変更します。



メモ

- ・数字ボタン[+], [-]を同時に押すと、初期設定値の「110」に戻ります。
- ・伴奏(STYLE)が選ばれている時は、ソングボリュームを変更することはできません。

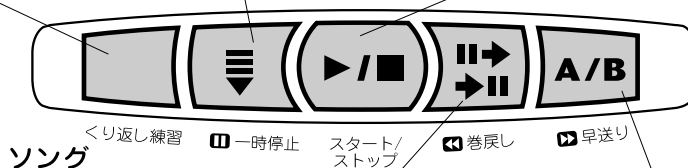
ソングコントロール

下記のボタンを押して、テープレコーダーのようにソングを操作することができます。

[くり返し練習](A-B REPEAT) ボタン
指定した曲の一部分を繰り返し再生
(A-B リピート) します。詳細は下記
を参照してください。

[一時停止](PAUSE) ボタン
ソングを一時停止します。もう一度押すと一
時停止した位置から再生がスタートします。

[スタート/ストップ](START/STOP) ボタン
ソングの再生をスタートします。もう一度押すと
ストップします。



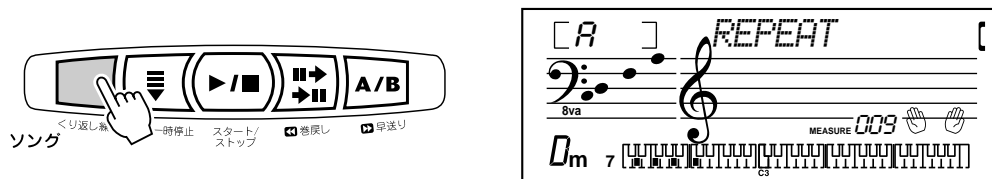
[巻戻し](REW) ボタン
再生中に押すとソングを巻き戻します。
停止中に押すと小節ナンバーが減少します。
巻戻し中は、ソングは再生されません。

[早送り](FF) ボタン
再生中に押すとソングを早送りします。
停止中に押すと小節ナンバーが増加します。

くり返し練習

自分が練習したいソングの一部分「A(リピートの始まり)」、「B(リピートの終り)」を設定して、その間の演奏を繰り返し再生します。

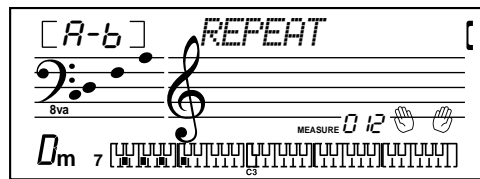
- 1 ソングの再生中に[くり返し練習](A-B REPEAT)ボタンを押して、くり返し練習の開始位置(A)をマークします。
ディスプレイに「A REPEAT」が表示されます。



- 2 くり返し練習の終了位置になったら、[くり返し練習](A-B REPEAT)ボタンを押して(B)をマークします。
ディスプレイに「A-b REPEAT」が表示され、A-B間が繰り返し再生されます。



・くり返し練習は、小節単位でリピートします。



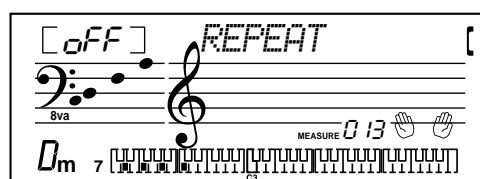
- 3 [スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押して、ソングをストップします。
もう一度[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すと、再びくり返し練習が始まります。



■ くり返し練習のキャンセル.....

[くり返し練習](A-B REPEAT)ボタンを押すと、くり返し練習はキャンセルされ、ディスプレイに「OFF REPEAT」が表示されます。

くり返し練習(再生)中にキャンセルすると、そのまま通常の再生を続けます。



- ・ソングナンバーを変えると、くり返し練習はキャンセルされます。
- ・伴奏(STYLE)に移ると、くり返し練習はキャンセルされます。
- ・停止中でも[巻き戻し]、[早送り]ボタンで小節を指定すれば、くり返し練習は設定できます。
- ・開始位置(A)を曲の先頭に指定したい場合、ソングをスタートする前に[くり返し練習](A-B REPEAT)ボタンを押します。



ソングを弾いてみましょう (ソングレッスン)

気に入ったソングを選んで、右手・左手別々に 3 段階のソングレッスンをすることができます。右手パートを練習するときは [R] ボタン、左手パートを練習するときは [L] ボタンを押します。

レッスン方法について

[R], [L] ボタンを押すたびに、ディスプレイが以下のように切り替わり、レッスン方法を選択できます。

レッスン 1 : タイミング

鍵盤を弾くタイミングを練習します。

レッスン 2 : ウェイティング

音符どおりに正しく鍵盤を弾く練習をします。

レッスン 3 : マイナスワン

伴奏に合わせて、音符どおりに弾く練習をします。

レッスン 4 : ボースハンド

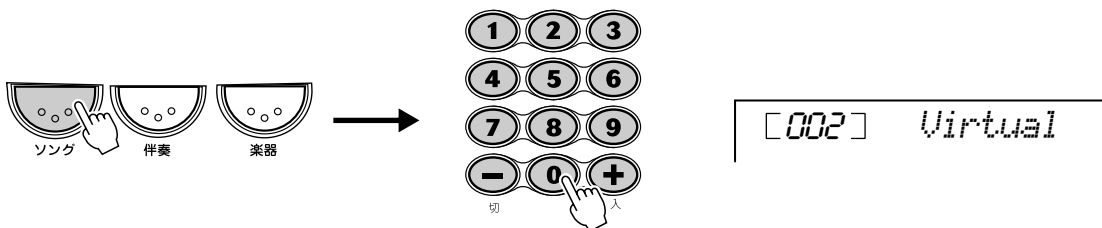
伴奏に合わせて、音符どおりに両手で引く練習をします。

[R], [L] ボタンを押して機能切り替えが一周すると、ソングレッスンを終了します。

レッスンを始めましょう

1 レッスン曲を選びます。

[ソング] (SONG) ボタンを押し、数字ボタン [0] ~ [9], [+], [-] で、レッスン曲 (ソングナンバー 001 ~ 100) を選びます。



練習曲は以下のジャンルに分かれ、100 曲入っています。

ソング

- 001 リヴィン・ラ・ヴィダ・ロカ
- 002 バーチャル・インサニティ
- 003 心の愛
- 004 ダンシング
- 005 トップ・オブ・ザ・ワールド
- 006~035 ピアノ/クラシック
- 036~075 ワールド
- 076~080 クリスマス
- 081~100 DJゲーム

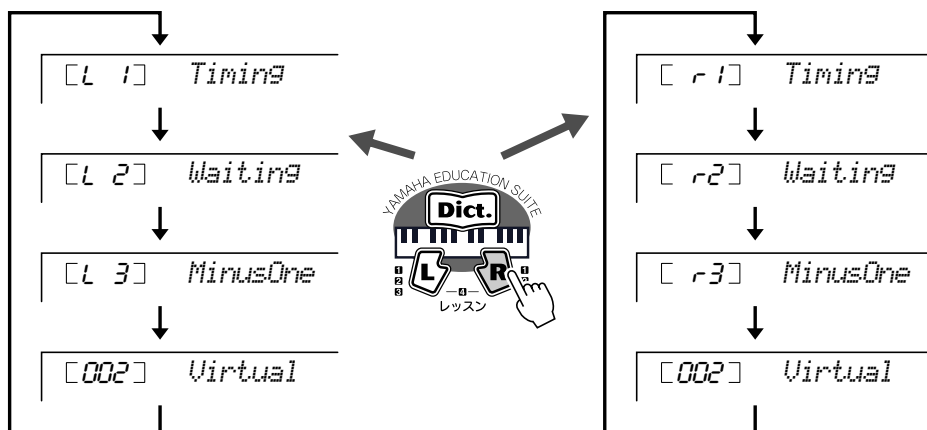
ソングを弾いてみましょう (ソングレッスン)

2 レッスン方法を選びます。

右手を練習したいときは[R]ボタン、左手を練習したいときは[L]ボタンを押します。ボタンを押すごとに、レッスン1 レッスン2 レッスン3 「切」(ソング) レッスン1・・・の順番で変わり、ディスプレイにレッスン名が表示されます

メモ

・音声入/切が「入」のときは、レッスン名を教えてください。



レッスン4を選ぶときは、[R], [L] ボタンを、両方同時に押します。

メモ

・DJ ソングが選ばれているときは、右手と左手の区別はありません。



[Lr4] BothHand

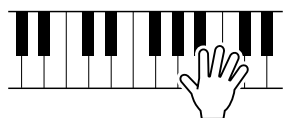
3 レッスンを始めましょう。

レッスン方法を選ぶと同時に、レッスン曲がスタートします。スタートすると、最初に弾く音が、ディスプレイに表示されます。表示にしたがって練習しましょう。

メモ

・鍵盤の押すタイミングを、*で表示します。一行は一小節を表します。

・* → #
同じ位置に“#”(シャープ)が表示された場合は、16分音符以下のタイミングで弾きます。



ソングを弾いてみましょう (ソングレッスン)

4 レッスンを終わるには・・・

[スタート / ストップ] (START/STOP) ボタンを押すと、レッスン曲が止まり、レッスンは終わります。



レッスン 1 (タイミング)

鍵盤を弾くタイミングを練習しましょう。

練習するパートのリズムに合わせて、右手パートのレッスンでは演奏鍵域 (F#2 より右側)、左手パートのレッスンでは伴奏鍵域の鍵盤を弾きます。

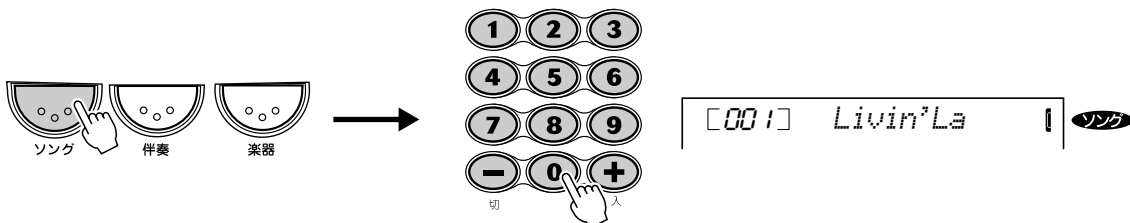
レッスン 1 では、鍵域内の鍵盤であれば、どの鍵盤でもかまいません。

メモ

・リズムに合わせてタイミングよく鍵盤を弾くと、メロディ音が鳴ります。

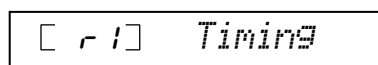
1 練習したい曲を選びます。

[ソング] (SONG) ボタンを押し、数字ボタン [0] ~ [9], [+], [-] で、レッスン曲を選びます。



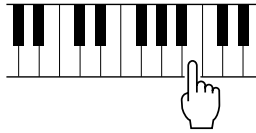
2 レッスン 1 を選びます。

右手を練習したいときは [R] ボタン、左手を練習したいときは [L] ボタンを押して、レッスン 1 を選びます。



3 レッスンをスタートします。

レッスン 1 を選ぶと、レッスンが自動的にスタートします。弾く音の音符と鍵盤位置がディスプレイに表示されます。リズムに合わせて好きな鍵盤を弾いて練習しましょう。



各ボタンを押すごとに、レッスン 1 レッスン 2 レッスン 3 「切」の順番で変わり、ディスプレイにレッスン名が表示されます。

レッスン 4 を選ぶときは、[R], [L] ボタンを、両方同時に押します。

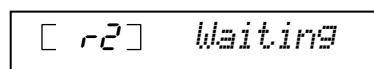
レッスン 2 (ウェイティング)

ディスプレイの音符どおりに正しく弾く練習をしましょう。
ディスプレイには、押さえる鍵盤と音符が表示されます。正しい鍵盤が押されると、次に押さえる鍵盤と音符がディスプレイに表示されます。
伴奏は、正しい鍵盤が押されるまで待っていてくれます。

1 レッスン曲を選びます。

2 レッスン 2 を選びます。

[R] または [L] ボタンを押して、レッスン 2 を選びます。



3 レッスンをスタートします。

レッスン 2 を選ぶと、レッスンが自動的にスタートします。弾く音の音符と鍵盤位置がディスプレイに表示されます。音符どおりに正しい鍵盤を弾いて練習しましょう。

ソングを弾いてみましょう (ソングレッスン)

レッスン 3 (マイナスイワン)

ソングのテンポで音符どおりに弾く練習をしましょう。
練習しているパート (右手 / 左手) 以外の伴奏が鳴り、ソングの進行に合わせて、弾く音の音符と鍵盤位置がディスプレイに表示されます。
伴奏に合わせて右手 / 左手の練習をしましょう。

- 1 レッスン曲を選びます。
- 2 レッスン 3 を選びます。
[R] または [L] ボタンを押して、レッスン 3 を選びます。



[r3] MinusOne

- 3 レッスンをスタートします。
レッスン 3 を選ぶと、レッスンが自動的にスタートします。弾く音の音符と鍵盤位置がディスプレイに表示されます。弾くパートだけが鳴らずに曲が進んでいきますので、曲をよく聴いて弾く練習をしましょう。

レッスン 4 (ボースハンド)

レッスン 3 と同様のマイナスイワンレッスンを両手で行ないます。レッスン 1 ~ 3 で片手ずつの演奏ができるようになったら、レッスン 4 を選び両手で弾く練習をします。

- 1 レッスン曲を選びます。
- 2 レッスン 4 を選びます。
[R], [L] ボタンを同時に押します。



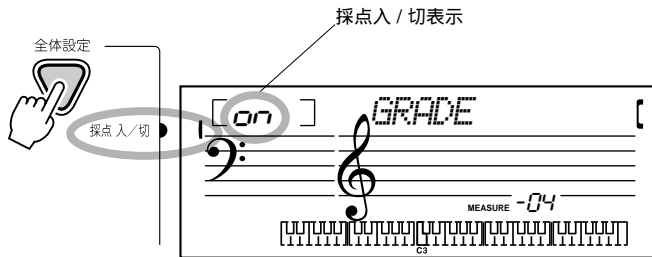
[Lr4] BothHand

- 3 レッスンをスタートします。
レッスン 4 を選ぶと、レッスンが自動的にスタートします。弾く音の音符と鍵盤位置がディスプレイに表示されます。

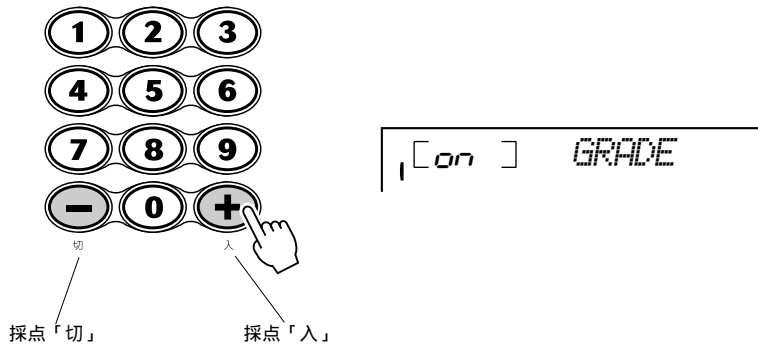
採点機能

レッスンでの結果を、PSR-260 が 4 段階で評価する機能です。
 レッスン終了後、ディスプレイに「OK」、「Good」、「Very Good」、「Excellent」のいずれかを表示します。音声入/切が「入」になっていれば、人の声でも教えてくれます。

1 [全体設定](OVERALL) ボタンを押して、「採点入/切」(GRADE) を選びます。



2 数字ボタン [+] を押して、採点入/切機能を「入」にします。



レッスン終了後、ディスプレイに採点中のバーが表示され、そのあとに、採点結果が表示されます。

Excellent
 Very Good
 Good
 OK



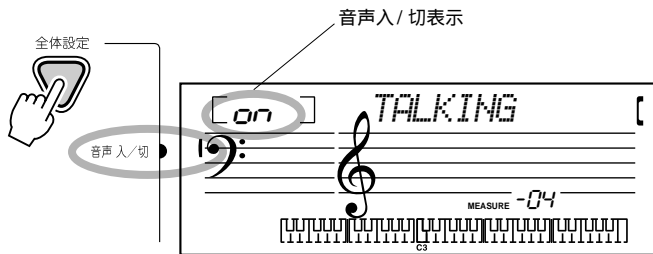
・電源を入れたとき、採点機能は「入」になっています。採点機能を「切」にしたいときは、数字ボタン [-] で「切」にします。



音声ガイドを活用する

ボタンの機能名や、いろいろなメッセージを音声で知らせる機能です。

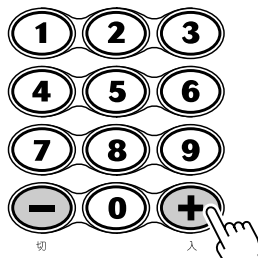
1 [全体設定](OVERALL) ボタンを押して、「音声入/切」(TALKING) を選びます。



2 数字ボタン[+],[-]を押して、音声入/切機能を「入」にします。

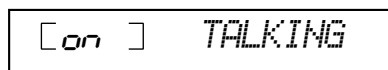
メモ

・電源を入れたとき、音声ガイドは「入」になっています。音声ガイドを消したいときは、数字ボタン[-]で「切」にします。



音声「切」

音声「入」



音声ガイドリスト

DJ
ディクショナリー
レッスン 1 ~ 4
OK
Good
Very Good
Excellent
Lesson off



伴奏に合わせて演奏するには...

伴奏って何？

PSR-260 には、100 種類の伴奏が入っています。
伴奏機能を使用すると、選択した伴奏と伴奏鍵域で押さえられたコードに合わせて、伴奏（ベース音とコード音）が自動的に演奏されます。

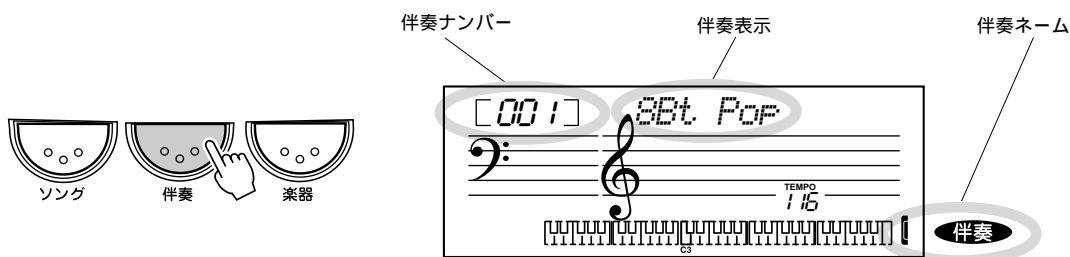


好みの伴奏を選び、伴奏機能を使って演奏してみましょう。

伴奏を選びます。	伴奏を選ぶ	41 ページ
↓		
伴奏をスタートします。	伴奏のスタート	42 ページ
↓		
コード（左手）を演奏します。	伴奏コードの押さえ方	44 ページ
↓		
メロディ（右手）を演奏します。	伴奏に合わせてメロディ演奏	47 ページ
↓		
伴奏パターンを切り替えます。	伴奏のパターンの切り替え	48 ページ
↓		
伴奏をストップします。	伴奏のストップ	43 ページ

伴奏を選ぶ

1 [伴奏](STYLE) ボタンを押します。



2 数字ボタン [0] ~ [9], [+], [-] で伴奏ナンバーを選びます。
ナンバーの選びかた (19 ページ参照)

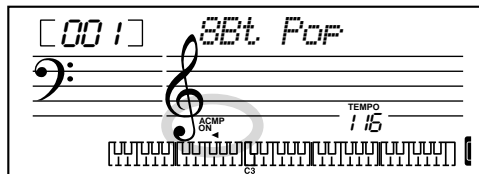
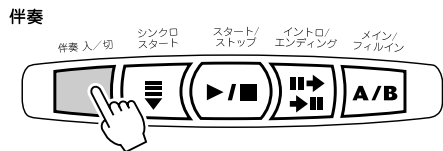
メモ

・リズムがストップしているときに伴奏を選ぶと、その伴奏に最適なテンポが自動的に選ばれます。ただし、リズム演奏中に伴奏を変更しても、テンポは変わりません。

伴奏に合わせて演奏するには...

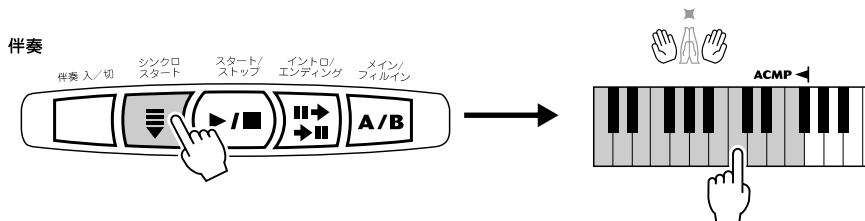
伴奏のスタート

[伴奏 入 / 切](ACCOMPANIMENT ON/OFF) ボタンを押して、伴奏を「入」にします。
伴奏のスタート方法には、次の 3 種類があります。



■ シンクロスタート.....

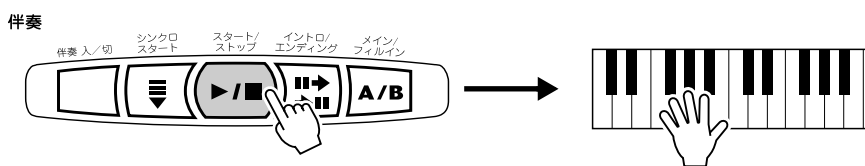
[シンクロスタート](SYNC START) ボタンを押すと、手拍子アイコンが点滅します。
伴奏鍵域でコードを弾くと同時に、伴奏 (シンクロ) がスタートします。



・シンクロスタート待機状態で、もう一度 [シンクロスタート] (SYNC START) ボタンを押すと、シンクロスタート待機状態は解除されます。この状態で、伴奏鍵域の鍵盤でコードを押さえると、リズムなしのベース音とコード音 (和音) が鳴ります。

■ スタート.....

[スタート / ストップ](START/STOP) ボタンを押すとリズムがすぐにスタートします。
伴奏鍵域でコードを弾くと、ベースやコードパートなどの演奏が付きます。



・[スタート / ストップ](START/STOP) ボタンを押すと、選ばれている伴奏のリズムだけがスタートします。また、伴奏ナンバー081~100(伴奏カテゴリー: ピアニスト) が選ばれている場合は何も鳴りません。

■ タップスタート.....

ボタンを押すタイミングで (テンポ) リズムがスタートします。
4 拍子なら 4 回、3 拍子なら 3 回、自分の感覚で [テンポ / タップ](TEMPO/TAP) ボタンを押します。



・タップ機能は、ソング / 伴奏再生中でも使うことができます。

イントロシンクスタート

[シンクロスタート](SYNC START) ボタンを押すとシンクロスタート待機状態になり、ビート表示が点滅します。

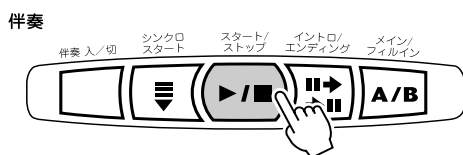
[イントロ/エンディング](INTRO/ENDING) ボタンを押すと、イントロ伴奏パターンで始まるシンクロスタート待機状態になります。

伴奏鍵域でコードを弾くと、イントロ伴奏パターンで始まる伴奏がスタートし、イントロのあと、メイン A(または B) 伴奏パターンへ移行します。(48 ページ参照)

伴奏のストップ

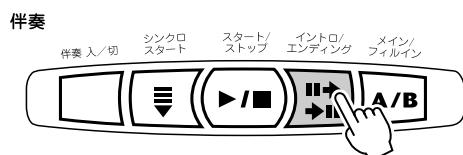
伴奏のストップ方法には、以下の 2 種類があります。

■ ストップ.....



■ エンディング.....

曲の最後に [イントロ / エンディング](INTRO/ENDING) ボタンを押すと、曲の終り(エンディング) にふさわしいフレーズになり、演奏が自動的にストップします。



リタルダンド

エンディング演奏中に [イントロ / エンディング](INTRO/ENDING) ボタンを押すと、演奏にリタルダンド(だんだん遅くなる)がかかり、ストップします。

■ テンポの設定.....

テンポを変更する場合は、[テンポ / タップ](TEMPO/TAP) ボタンを押して、数字ボタン [0] ~ [9], [+], [-] を使って変更します。または、タップ機能を使ってテンポを設定します。(31 ページ参照)

伴奏コードの押さえ方

基本的な押さえ方として、シングルフィンガーとフィンガードの2種類があります。PSR-260は、どちらを使用してもコードを自動的に判断するマルチフィンガリングという機能を使用しています。

シングルフィンガーコードの簡単な押さえ方
 フィンガード通常のコードの押さえ方

鍵盤の(◀)より左の伴奏鍵域でコードを弾いてください。

■ シングルフィンガー.....

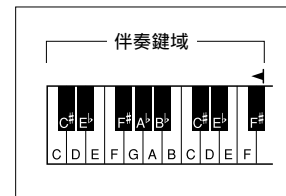
伴奏鍵域で、3本以内の指を使って、メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードを演奏することができます。



・ルートキー(根音)と押さえる鍵盤

シングルフィンガーのコードの押さえ方

<p>C</p> <p>・メジャー(M)コード ルートキー(根音)を押さえてください。</p>	<p>C7</p> <p>・セブンス(7)コード ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の白鍵を同時に押さえてください。</p>
<p>Cm</p> <p>・マイナー(m)コード ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵を同時に押さえてください。</p>	<p>Cm7</p> <p>・マイナーセブンス(m7)コード ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。</p>



■ フィンガード.....

伴奏鍵域でコードを押さえると、自動的にコード名を検出し、伴奏を演奏します。



- ・左図でカッコ()内の鍵盤は押さえずともかまいません。
- ・コードはすべて基本形で書かれていますが、その転回形も可能です。ただし、以下の場合を例外とします。
 - ・m6とm7b5はインターバルが同じです。押鍵の最低音がm6の根音になっている場合m6とみなし、それ以外の転回形はm7b5とみなします。
 - ・aug, dim(7)は押鍵の最低音を根音とみなします。
 - ・7b5は押鍵の最低音を、根音またはb7とみなします。
 - ・7augはaug, dim7はdimとみなします
- ・「Bm6」「Bbm6」「Baug」は認識されません。

フィンガードで認識されるコードの押さえ方(基本形)

[Cの押鍵例]

C 	Cm 	Caug(7aug) 	Cdim(dim7)
Csus4 	C7 	Cm7 	CM7
CmM7 	C7b5 	Cm7b5 	C7sus4
Cm6 	C(9) 		



コードを調べよう

コード名が分かっているが鍵盤の押さえ方がわからない場合、ディクショナリー機能を使います。

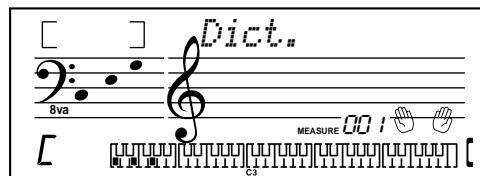
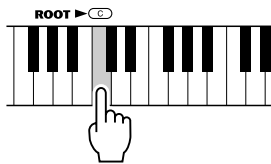
ディクショナリーでコードを調べよう

楽譜に書かれたコードの押さえかたを、ディスプレイで知ることができます。

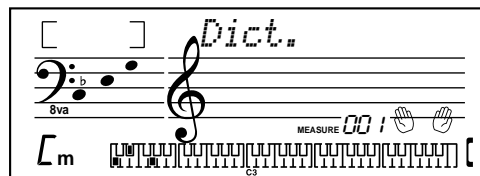
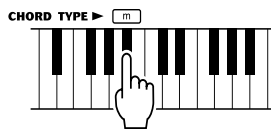
1 [Dict.](ディクショナリー) ボタンを押します。



2 たとえば「Cm」の押さえ方は、次の手順で操作します。
鍵盤の上に書かれた「ROOT ▶」から「C」鍵盤を押します(音は鳴りません)。設定されたルート音はディスプレイに表示されます。



3 鍵盤の上に書かれた「CHORD TYPE ▶」から「m」(マイナー)の鍵盤を押します(音は鳴りません)。指定したコード(ルート音+コードタイプ)の押さえ方が、ディスプレイに音符表示と鍵盤イラストで表示されます。



このように押さえ方を知らないコードを入力すれば、そのコードの構成音や押さえ方がわかります。
ディスプレイにしたがって、左手でコードを押さえてみましょう。コードを正しく押さえると、コード名が点滅します。

メモ

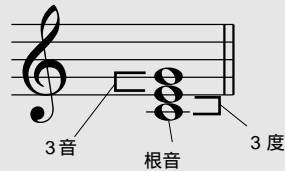
・BM7のように1つの音符に「#」と「#」、または「b」と「b」が存在する場合、ディスプレイの制約で音符表示ができない場合があります。

コードを調べよう

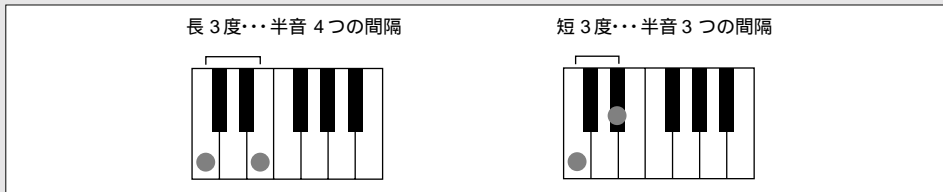
■ コード (和音) について……………

音を 2 つ以上組み合わせると同時に鳴らしたものを「和音 (コード)」と呼びます。

「ド・ミ・ソ」のように、ある音の 3 度上の音と、さらにもう 3 度上の音を同時に鳴らすと、良い響きがあります。このような形の和音を特に「三和音」と呼び、確実によく響き、音楽の中で非常に重要な役割を果たします。



上の例で三和音の一番下の音を「根音」と呼びます。これは和音を支える中心的な存在です。この根音の上に 2 つの「3 度の音」が重なりますが、3 度の音には「長 3 度と短 3 度」の 2 種類があります。



その組み合わせは次の 4 種類になります。

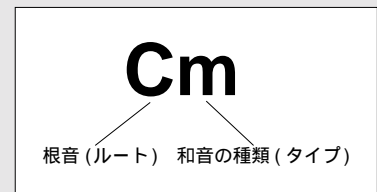
メジャーコード	マイナーコード	オーギュメントコード	ディミニッシュコード

和音は、3 つの構成音の順番を入れ替えたり、構成音をオクターブ違いで重ねても、響きの基本的な性格は変わりません。

種類の違う和音をさまざまな姿に変えながら一定の法則に基づいて連結していくと、美しいハーモニーが生まれます。音楽はハーモニーに基づいて成り立っています。

和音の表記について

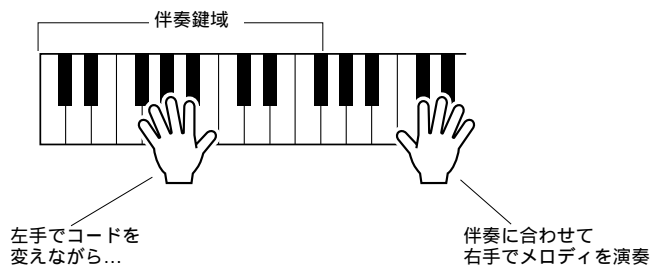
和音の構成音や、その種類を一目で分かるように工夫したものがコードネームです。コードネームのしくみが分かると、音符を見ながら簡単に和音を弾けるので大変便利です。



和音の種類 (フィンガーで認識されるものの一部)

<p>C</p> <p>短3度 長3度</p>	<p>Cm</p> <p>短3度 長3度</p>	<p>Caug</p> <p>長3度 長3度</p>	<p>Cdim</p> <p>短3度 短3度</p>	<p>Csus4</p> <p>完全5度 完全4度</p>
<p>C7</p> <p>短7度 メジャーコード</p>	<p>Cm7</p> <p>短7度 マイナーコード</p>	<p>CM7</p> <p>長7度 メジャーコード</p>	<p>CmM7</p> <p>長7度 マイナーコード</p>	<p>C7b5</p> <p>減5度 セブンスコード</p>
<p>Cm7b5</p> <p>短7度 ディミニッシュコード</p>	<p>C7sus4</p> <p>短7度 サスフォーコード</p>	<p>Cm6</p> <p>長6度 マイナーコード</p>	<p>C(9)</p> <p>メジャーコード 長9度</p>	

伴奏に合わせてメロディ演奏



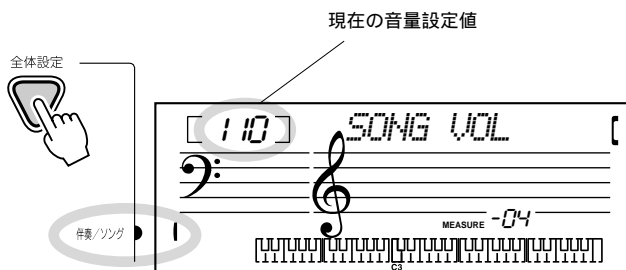
メモ

・自分の演奏しやすいテンポに設定しましょう。(31ページ参照)

■ 伴奏音量の設定.....

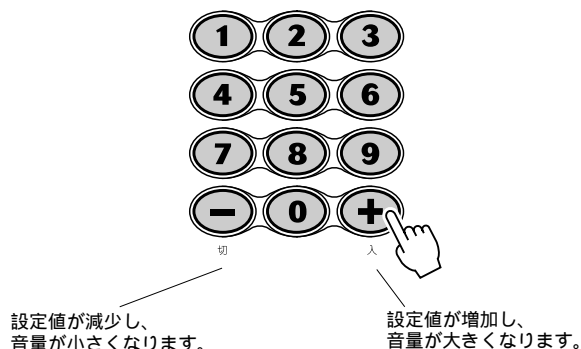
伴奏全体の音量を調節して、鍵盤演奏とのバランスをとります。

- ① [全体設定] (OVERALL) ボタンを押して、「伴奏 / ソング音量」 (ACMP/SONG VOLUME) を選びます。



コードを調べよう

- ② 数字ボタン[0]～[9], [+], [-]を押して、伴奏の音量を000～127の範囲で変更します。

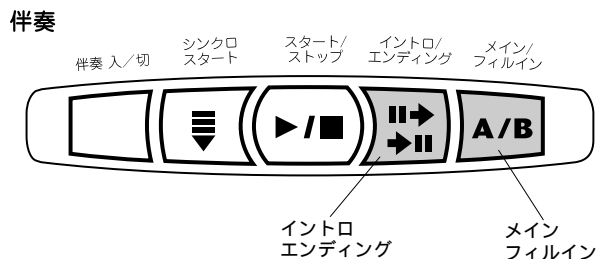


メモ

- ・伴奏音量は伴奏(STYLE)が選ばれているとき、設定できます。
- ・数字ボタン[+], [-]を同時に押すと、初期設定値の「100」に戻ります。

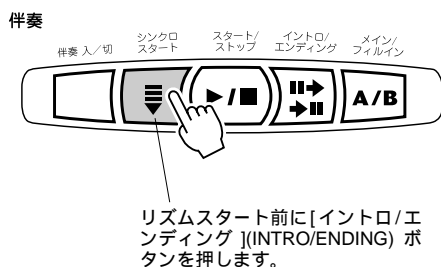
伴奏パターンの切り替え

伴奏には、イントロ、メイン A/B、フィルイン、エンディングの伴奏パターンがあります。曲に合わせて切り替えることにより、表情豊かな演奏をすることができます。



■ イントロ.....

曲のスタート前にこのボタンを押すと、曲の始まり(イントロ)にふさわしいフレーズでスタートします。イントロの演奏が終了すると、メインに移行します。

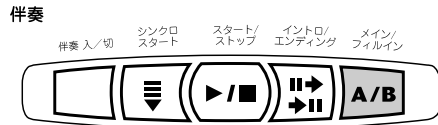


「INTRO A(B)」表示中に [メイン / フィルイン] (MAIN/AUTO FILL) ボタンを押すと、イントロ演奏後のメインを変更できます。

「INTRO A(B)」表示中にもう一度 [イントロ / エンディング] (INTRO/ENDING) ボタンを押すと、イントロがキャンセルされ、ディスプレイにはスタート後に演奏されるメイン「MAIN A(B)」が表示されます。

■ メイン

メインには、A/B 2 つのバリエーションがあります。伴奏演奏中に [メイン / フィルイン] (MAIN/AUTO FILL) ボタンを押して切り替えます (切り替え時に自動的にフィルインが演奏されます)。



スタート前 (リズム停止中) に [メイン / フィルイン] (MAIN/AUTO FILL) ボタンを押す (メイン A/B の予約)、またはスタート後に [メイン / フィルイン] (MAIN/AUTO FILL) ボタンを押します。

■ フィルイン

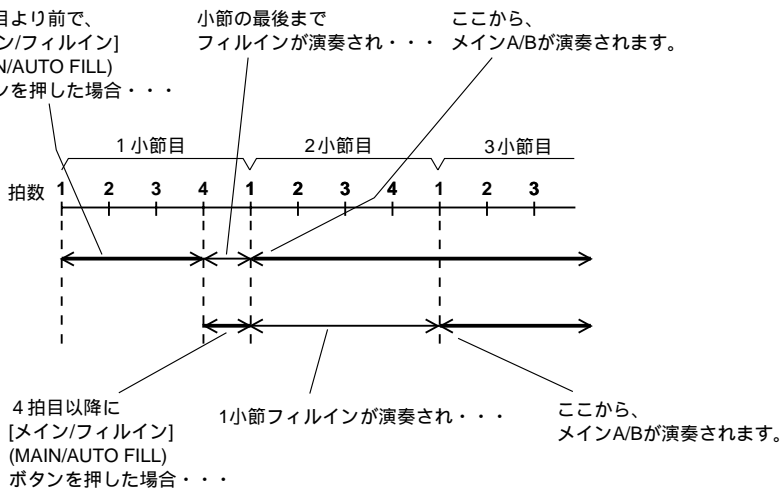
フィルインは曲の流れに区切りをつけて演奏を盛り上げます。演奏中に [メイン / フィルイン] (MAIN/AUTO FILL) ボタンを押すと、演奏状況に応じて最適なフィルインが自動的に演奏され (自動フィルイン)、伴奏にアクセントを付けることができます。



メモ

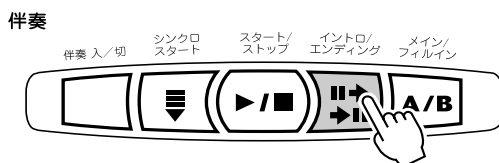
- ・伴奏ナンバー081 ~ 100(伴奏カテゴリー：ピアニスト)が選ばれている場合は、フィルインは演奏されません。
- ・[メイン / フィルイン] (MAIN/AUTO FILL) ボタンを押し続けると、フィルインが繰り返し演奏されます。

フィルインを押すタイミング



■ エンディング

曲の最後にこのボタンを押すと、曲の終り (エンディング) にふさわしいフレーズを演奏して終わります。



メモ

- ・[イントロ/エンディング] (INTRO/ENDING) ボタンを押すと、次の小節からエンディングが演奏されます。
- ・エンディング演奏中に [イントロ / エンディング] (INTRO/ENDING) を押すと、演奏にリタルダンドがかかります (だんだん遅くなってストップします)。



マルチパッドを鳴らすには...

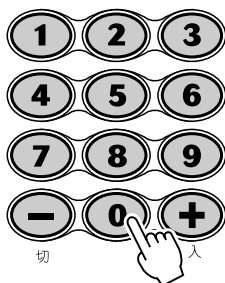
PSR-260 のマルチパッドには、40 種類 (4 パッド × 10 バンク) のフレーズやドラムサウンドなどが入っています。演奏中にパッドを押すだけで、それらのフレーズやサウンドを鳴らすことができます。

マルチパッドバンクの選びかた / 鳴らしかた

- 1** [全体設定](OVERALL) ボタンを押して、「マルチパッド」(MULTI PAD) を選びます。



- 2** 数字ボタン [0] ~ [9], [+], [-] を押して、バンクを選びます。(56 ページ「マルチパッドバンクリスト」参照)



- 3** マルチパッド (MULTI PAD)[1] ~ [4] を押すと、そのパッドの演奏が始まります。



メモ

- ・DJ ゲームを演奏中は、マルチパッドは鍵盤と同じ機能になります。
- ・マルチパッドの中には伴奏鍵域で検出されたコードに合わせて鳴るものもあります。



MIDI を使うとこんなことができる

PSR-260 のリアパネルには MIDI 端子 (MIDI IN/MIDI OUT) があります。MIDI 機能を活用することにより、PSR-260 の機能を拡張することができます。

MIDI について

MIDI (ミディ) とは、「Musical Instrument Digital Interface」の略で、「電子楽器間のデジタル通信」という意味です。MIDI は電子楽器どうし (または、コンピューターなどと) で演奏情報のやりとりを行なうために生まれた世界共通の規格です。複数の MIDI 楽器 (機器) をケーブルで接続すれば、機器間でさまざまな演奏情報が送受信でき、より高度な演奏が可能になります。

- MIDI IN 端子 他の MIDI 機器から MIDI 信号を受信します。
- MIDI OUT 端子 PSR-260 の演奏情報を MIDI 信号として他の MIDI 機器へ送信します。



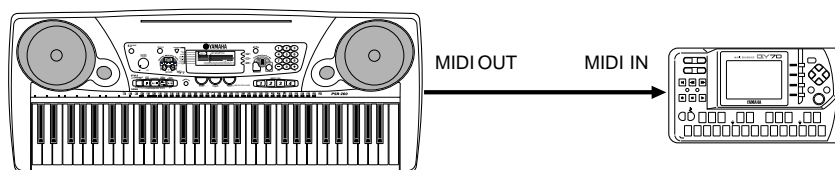
IN — MIDI — OUT



- ・MIDI 機器の接続には専用の MIDI ケーブル (別売) が必要です。楽器店などで買い求めください。
- ・長いケーブルを使用すると、エラーが生じる場合があります。ケーブルは15m以内のものをご使用ください。

MIDI を使ってできること

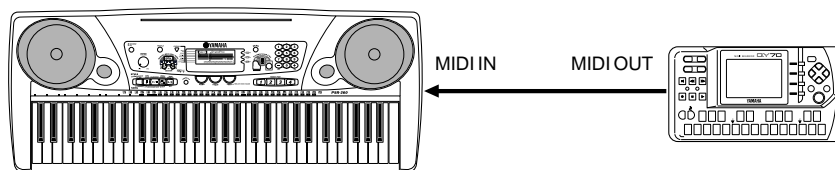
PSR-260 の MIDI OUT 端子と、他の MIDI シーケンサーの MIDI IN 端子を接続



- ・演奏を録音する前に、現在の楽器の設定状態をシーケンサーに録音しておく、再生のとき、録音したときと同じ状態で再生されます。
- ・録音のとき、伴奏入 / 切ボタンを1~2回押して楽器の設定状態を送信 (録音) してから、演奏を開始します。

PSR-260 の演奏 (キーオン / キーオフ) を MIDI シーケンサーに録音できます。

PSR-260 の MIDI IN 端子と、他の MIDI シーケンサーの MIDI OUT 端子を接続



- ・PSR-260 は独自の音色配列を採用しています。PSR-260 の演奏を MIDI シーケンサーに録音した場合、再生時にも PSR-260 を利用することをおすすめします。他の音源などでは正しく再生されない場合があります。
- ・SONG (ソング) では、MIDI データを送受信できません。
- ・外部音源では、オクターブ移動して再生する場合があります。
- ・デュアル音色は外部ではたらない場合があります。

MIDI シーケンサーに録音した演奏を、PSR-260 で再生します。



楽器リスト

■ 最大同時発音数について.....

PSR-260 の最大同時発音数は 16 音ですが、デュアル音色やスプリット音色、自動伴奏、ソングなどを含めたすべての発音数の合計が 16 音ということです。したがって自動伴奏やソングの再生などで発音している分だけ、鍵盤演奏の発音数は減少します。16 音以上になると、新しく押さえた音を優先して発音します。

なお、PSR-260 の楽器の中には、2 音以上使って発音しているものがあります。これらは 1 音の発音が 2 音以上の発音に相当します。各楽器ごとの使用発音数は、次のリストを参照してください。(リスト内の発音数は、その楽器の使用する最大の使用発音数を示していますが、音程によってはこれ以下の使用発音数になるものもあります。)



・MIDI を使って PSR-260 の楽器を鳴らす場合は、下記のプログラムチェンジナンバーを使用してください。また、必要に応じてバンク MSB/LSB を設定してください。ドラムキット以外を選ぶ場合は「バンク MSB = 00H、LSB = 70H」に、ドラムキット (楽器ナンバー 88, 100) を選ぶ場合は「バンク MSB = 7FH、LSB = 00H」に設定します。

・MIDI を使って PSR-260 の楽器を鳴らす場合、ハーモニー音色やエコー音色は効果が付きません。

[パネル楽器リスト]

NO.	プログラムチェンジナンバー	楽器名	使用発音数
ピアノ			
001	0	グランドピアノ (GRAND PIANO)	2
002	1	ホンキートンクピアノ (HONKY-TONK)	2
003	2	エレクトリックピアノ 1(E PIANO 1)	2
004	3	エレクトリックピアノ 2(E PIANO 2)	2
005	4	エレクトリックピアノ 3(E PIANO 3)	2
006	5	エレクトリックピアノ 4(E PIANO 4)	2
007	6	ハープシコード (HARPSICHORD)	2
008	7	クラビ (CLAVI)	1
009	8	チェレスタ (CELESTA)	1
オルガン			
010	9	ビブラートオフ (VIBRATO OFF)	2
011	10	ビブラートオン (VIBRATO ON)	2
012	11	ハーモニーオフ (HARMONY OFF)	2
013	12	ハーモニーオン (HARMONY ON)	2
014	13	アタックオフ (ATTACK OFF)	2
015	14	アタックオン (ATTACK ON)	2
016	15	ウェーブオフ (WAVE OFF)	2
017	16	ウェーブオン (WAVE ON)	2
018	17	パイプオルガン (PIPE ORGAN)	2
019	18	アコーディオン (ACCORDION)	2
020	19	ハーモニカ (HARMONICA)	1
ギター / ベース			
021	20	ソフトギター (SOFT GUITAR)	1
022	21	フォークギター (FOLK GUITAR)	1
023	22	12 弦ギター (12ST GUITAR)	2
024	23	ジャズギター (JAZZ GUITAR)	1
025	24	エレクトリックギター (E GUITAR)	2
026	25	ディストーションギター (DIST GUITAR)	2
027	26	ウッドベース (WOOD BASS)	1
028	27	フィンガーベース (FINGER BASS)	1
029	28	スラップベース (SLAP BASS)	1
ストリング / マレット			
030	29	ストリングス (STRINGS)	1
031	30	バイオリン (VIOLIN)	1
032	31	チェロ (CELLO)	1
033	32	ハープ (HARP)	1
034	33	シタール (SITAR)	1
035	34	バンジョー (BANJO)	1
036	35	ビブラフォン (VIBRAPHONE)	1
037	36	マリンバ (MARIMBA)	1
038	37	スチールドラム (STEEL DRUMS)	1
ブラス			
039	38	トランペット (TRUMPET)	1
040	39	トロンボーン (TROMBONE)	1
041	40	ミュートトランペット (MUTE TRPET)	1
042	41	フレンチホルン (FRENCH HORN)	1
043	42	ブラスセクション (BRASS SECT)	1
044	43	アルトサクソ (ALTO SAX)	1
045	44	テナーサクソ (TENOR SAX)	1
046	45	オーボエ (OBOE)	1

NO.	プログラムチェンジナンバー	楽器名	使用発音数
047	46	クラリネット (CLARINET)	1
048	47	フルート (FLUTE)	1
049	48	パンフルート (PAN FLUTE)	1
シンセサイザー			
050	49	シックリード (THICK LEAD)	2
051	50	シンブルリード (SIMPLE LEAD)	1
052	51	シックソウトゥース (THICK SAW)	2
053	52	シンブルソウトゥース (SIMPLE SAW)	1
054	53	シンセベース (SYNTH BASS)	1
055	54	シンセストリングス (SY STRINGS)	1
056	55	シンセブラス (SY BRASS)	2
057	56	スローストリングス (SLOW STRS)	1
058	57	コーラス (CHORUS)	1
ハーモニー			
059	58	ピアノトリオ (PIANO TRIO)	3
060	59	ピアノカントリー (PNO COUNTRY)	2
061	60	エレピトリオ (E PNO TRIO)	3
062	61	ハーブシコードトリオ (HARPSI TRIO)	3
063	62	オルガントリオ (E ORG TRIO)	3
064	63	ビブラフォンデュエット (VIBES DUET)	2
065	64	トランペットデュエット (TRP DUET)	2
066	65	ホルンデュエット (HORN DUET)	2
067	66	クラリネットトリオ (CLARINET TR)	3
068	67	フルートデュエット (FLUTE DUET)	2
スプリット			
069	68	ウッドベース / ピアノ (WD BASS/PNO)	1
070	69	ストリングス / ピアノ (STRINGS/PNO)	1
071	70	ベース / エレピ (FN BA/E PNO)	1
072	71	ハーブ / バイオリン (HARP/VIOLIN)	1
073	72	ホルン / トランペット (HORN/TRP)	1
サステイン			
074	73	サステインピアノ (SUS PIANO)	1
075	74	サステインエレピ 1(SUS E PNO1)	1
076	75	サステインエレピ 2(SUS E PNO2)	1
077	76	サステインビブラフォン (SUS VIBRAPHONE)	1
078	77	サステインストリングス (SUS STRINGS)	1
エコー			
079	78	エコーピアノ (PIANO)	1
080	79	エコーエレクトリックピアノ (E PIANO)	1
081	80	エコーハーブシコード (HARPSICHORD)	1
082	81	エコーチェレスタ (CELESTA)	1
083	82	エコーフォークギター (FOLK GUITAR)	1
084	83	エコーバンジョー (BANJO)	1
085	84	エコービブラフォン (VIBRAPHONE)	1
086	85	エコーマリンバ (MARIMBA)	1
087	86	エコースチールドラム (STEEL DRUMS)	1
088	*1	エコードラムキット (DRUM KIT)	1
デュアル			
089	88	ピアノコンチェルト (PNO CONCE)	2
090	89	エレピコンチェルト (E PNO CONCE)	2
091	90	フェアリーランド (FAIRY LAND)	2
092	91	ムードギター (MOOD GUITAR)	2
093	92	リッチギター (RICH GUITAR)	2
094	93	ホットオルガン (HOT ORGAN)	2
095	94	エクセルバイオリン (EXCEL VIOLIN)	2
096	95	クリスタル (CRYSTAL)	2
097	96	スターシップ (STAR SHIP)	2
DJ			
098	97	DJ ボイス 1(DJ VOICE 1)	1
099	98	DJ ボイス 2(DJ VOICE 2)	1
ドラムキット			
100	*2	ドラムキット (DRUM KIT)	1

*1 MSB=7FH, LSB=00H, Prg Ch#=1

*2 MSB=7FH, LSB=00H, Prg Ch#=2

楽器リスト

ソングに使われている楽器の中には、PSR-260のパネルからは直接選べない楽器があります。次のリストの楽器はパネルから直接選択できない楽器です。これらの楽器を使用するときは、外部からPSR-260にMIDIプログラムチェンジナンバーを送信します。このとき、バンクを「バンク MSB=00H, バンク LSB=00H」に設定します。

[楽器リスト]

プログラム チェンジ ナンバー	楽器名	使用発 音数	プログラム チェンジ ナンバー	楽器名	使用発 音数
0	ピアノ (Piano)	1	60	フレンチホルン (French Horn)	1
3	ホンキートンクピアノ (Honky-tonk Piano)	2	61	ブラスセクション (Brass Section)	1
4	エレクトリックピアノ 1(Electric Piano 1)	2	63	シンセブラス (Synth Brass)	1
5	エレクトリックピアノ 2(Electric Piano 2)	2	65	アルトサクソ (Alto Sax)	1
6	ハーpsiコード (Harpsichord)	1	66	テナーサクソ (Tenor Sax)	1
7	クラビ (Clavi)	1	68	オーボエ (Oboe)	1
8	チェレスタ (Celesta)	1	71	クラリネット (Clarinet)	1
11	ビブラフォン (Vibraphone)	1	73	フルート (Flute)	1
12	マリンバ (Marimba)	1	75	パンフルート (Pan Flute)	1
16	エレクトリックオルガン 1(Electric Organ 1)	2	80	リード (Lead)	1
17	エレクトリックオルガン 2(Electric Organ 2)	2	81	ソウトゥース (Sawtooth)	1
19	パイプオルガン (Pipe Organ)	2	88	ピアノコンチェルト (Piano Concerto)	2
21	アコーディオン (Accordion)	1	89	エレピコンチェルト (Electric Piano Concerto)	2
22	ハーモニカ (Harmonica)	1	90	フェアリーランド (Fairy land)	2
23	ウェーブオルガン (Wave Organ)	2	91	ホットオルガン (Hot Organ)	2
24	ソフトギター (Soft Guitar)	1	92	ムードギター (Mood Guitar)	2
25	フォークギター (Folk Guitar)	1	93	エクセルバイオリン (Excel Violin)	2
26	ジャズギター (Jazz Guitar)	1	94	スターシップ (Star ship)	2
27	エレクトリックギター (Electric Guitar)	1	95	スロースtrings (Slow Strings)	1
28	12弦ギター (12Strings Guitar)	2	98	クリスタル (Crystal)	2
29	リッチギター (Rich Guitar)	2	104	シタール (Sitar)	1
30	ディストーションギター (Distortion Guitar)	1	105	バンジョー (Banjo)	1
32	ウッドベース (Wood Bass)	1	114	スチールドラム (Steel Drums)	1
33	フィンガーベース (Finger Bass)	1	123	ウッドベース / ピアノ (Wood Bass / Piano)	1
34	ミュートベース (Mute Bass)	1	124	Stringス / ピアノ (Strings / Piano)	1
36	スラップベース (Slap Bass)	1	125	フィンガーベース / エレクトリックピアノ (Finger Bass / Electric Piano)	1
38	シンセベース (Synth Bass)	1	126	ハーブ / バイオリン (Harp / Violin)	1
40	バイオリン (Violin)	1	127	ホルン / トランペット (Horn / Trumpet)	1
42	チェロ (Cello)	1			
46	ハーブ (Harp)	1			
49	Stringス (Strings)	1			
51	シンセStringス (Synth Strings)	1			
52	コーラス (Choir)	1			
56	トランペット (Trumpet)	1			
57	トロンボーン (Trombone)	1			
59	ミュートトランペット (Muted Trumpet)	1			



ドラムキットリスト

各パーカッション音の使用発音数は1です。

PSR-260の鍵盤 (Keyboard)の Note# と Note は、MIDIの Note# と Note よりも1オクターブ上になります。たとえば、NOTE#=36,Note=C1のバスドラムを鳴らしたい場合は、MIDIの Note#=24,Note=C0のプログラムチェンジを、PSR-260に送信します。

Alternate assignナンバー 1,2が同じものは、同時に鳴らすことはできません。

Bank MSB#		127	
Bank LSB#		0	
Program Change#			
0			
Keyboard		Alternate assign	Drum Kit
Note#	Note		
12	C	-1	
13	C#	-1	
14	D	-1	
15	D#	-1	ハイキュー
16	E	-1	
17	F	-1	スクラッチH
18	F#	-1	スクラッチL
19	G	-1	
20	G#	-1	
21	A	-1	
22	A#	-1	
23	B	-1	
24	C	0	
25	C#	0	
26	D	0	
27	D#	0	ブラッシュスラップ
28	E	0	リバースシンバル
29	F	0	
30	F#	0	エレクトロニックバスドラム
31	G	0	
32	G#	0	エレクトロニックスネアドラム
33	A	0	
34	A#	0	
35	B	0	バスドラム1
36	C	1	バスドラム2
37	C#	1	リムショット
38	D	1	スネアドラム1
39	D#	1	エレクトロニックフロアタム
40	E	1	スネアドラム2
41	F	1	フロアタム
42	F#	1	1 ハイハットクローズ
43	G	1	エレクトロニックロータム
44	G#	1	1 ハイハットペダル
45	A	1	ロータム
46	A#	1	1 ハイハットオープン
47	B	1	エレクトロニックミッドタム
48	C	2	ミッドタム
49	C#	2	クラッシュシンバル
50	D	2	ハイタム
51	D#	2	ライドシンバル1
52	E	2	エレクトロニックハイタム
53	F	2	ライドシンバルカップ
54	F#	2	タンバリン
55	G	2	スブラッシュシンバル
56	G#	2	カウベル
57	A	2	
58	A#	2	
59	B	2	ライドシンバル2
60	C	3	ボンゴH
61	C#	3	ボンゴL
62	D	3	コンガHミュート
63	D#	3	コンガHオープン
64	E	3	コンガL
65	F	3	ティンパレスH
66	F#	3	ティンパレスL
67	G	3	アゴゴH
68	G#	3	アゴゴL
69	A	3	
70	A#	3	
71	B	3	
72	C	4	
73	C#	4	ギロショート
74	D	4	ギロロング
75	D#	4	クラベス
76	E	4	
77	F	4	
78	F#	4	
79	G	4	
80	G#	4	2 トライアングルミュート
81	A	4	2 トライアングルオープン
82	A#	4	シェイカー
83	B	4	
84	C	5	ベルツリー
85	C#	5	エレクトロニックバスドラムA
86	D	5	エレクトロニックバスドラムB
87	D#	5	エレクトロニックバスドラムC
88	E	5	エレクトロニックスネアドラムA
89	F	5	エレクトロニックスネアドラムB
90	F#	5	エレクトロニックリムショット
91	G	5	リバースパルス
92	G#	5	ハンドクラップ
93	A	5	オーケストラヒット
94	A#	5	スクラッチ1
95	B	5	スクラッチ2
96	C	6	スクラッチ3



伴奏リスト / マルチパッドリスト

● 伴奏リスト

No.	伴奏名	No.	伴奏名	No.	伴奏名	No.	伴奏名								
8 ビート															
1	8ビートポップ	DJ													
2	8ビートアップテンポ	26	ユーロテクノ	50	ビッグバンドバラード	75	マンボ								
3	8ビートスタンダード	27	ファンキートリップホップ	51	ジャズカルテット	76	ビギン								
4	8ビートシャッフル	28	ポップレゲエ	52	デキシード	77	メレンゲ								
5	フォークロック	29	アシッドハウス	カントリー&ウエスタン				78	ボレロレント						
6	ポップロック	30	シェイキン	53	ブルーグラス	カリビアン									
7	クリスタルポップ	ロック								79	レゲエ 1				
8	8ビートメディアム	31	8ビートロックバラード	54	2/4 カントリー	80	レゲエ 2								
16 ビート								ピアノスト							
9	16ビートシャッフル	32	16ビートロックバラード	55	カントリーバラード	81	2 ビート								
10	16ビートポップ	33	ハードロック	56	カントリーシャッフル	82	ストライド								
バラード								ボールルーム							
11	8ビートバラード	34	ハードロック	57	ルンバ	83	コンチェルト								
12	エピックバラード	35	ロックシャッフル	58	タンゴコンチネンタル	84	8 ビート								
13	ピアノバラード	36	6/8 ヘビーロック	59	ジャイブ	85	ホンキートンク								
14	ソウルバラード	37	US ロック	マーチ&ワルツ				86	ピアノバラード						
15	スローロック	ロックンロール								87	ポップバラード				
16	6/8 バラード	38	ロックンロール	60	マーチ	88	アルペジオ 1								
17	ハーブアルペジオ 1	39	ブギ	61	6/8 マーチ	89	アルペジオ 2								
18	ハーブアルペジオ 2	40	ツイスト	62	ライトマーチ	90	ダンスポップ								
19	ハーブアルペジオ 3	リズム&ブルース								91	ダンスポップ				
20	オルゴール	41	リズム&ブルース	63	クリスタルマーチ	92	ロックンロール								
ダンス								42	ファンク	64	ボルカ	93	タイトロック		
21	ダンスポップ	43	ソウル	65	スタンダードワルツ	94	スイング								
22	テクノ	44	ゴスペルシャッフル	66	ジャーマンワルツ	95	ジャズワルツ								
23	ユーロビート	45	6/8 ゴスペル	67	ウィンナワルツ	96	ラグタイム								
24	ヒップポップ	46	4/4 ブルース	68	クリスタルワルツ	97	ビギン								
25	'70 ディスコ	ジャズ								98	チャチャチャ				
								47	ジャズバラード	99	マーチ				
								48	ジャズワルツ	100	6/8 マーチ				
								49	フュージョン	ラテン					
								ジャズ							
								50	ジャズワルツ	72	ボサノバ				
								51	ビッグバンドバラード	73	サルサ				
								52	デキシード	74	サンバ				
								カントリー&ウエスタン							
								53	ブルーグラス						
								54	2/4 カントリー						
								55	カントリーバラード						
								56	カントリーシャッフル						
								ボールルーム							
								57	ルンバ						
								58	タンゴコンチネンタル						
								59	ジャイブ						
								マーチ&ワルツ							
								60	マーチ						
								61	6/8 マーチ						
								62	ライトマーチ						
								63	クリスタルマーチ						
								64	ボルカ						
								65	スタンダードワルツ						
								66	ジャーマンワルツ						
								67	ウィンナワルツ						
								68	クリスタルワルツ						
								69	オーケストラワルツ 1						
								70	オーケストラワルツ 2						
								71	オルゴールワルツ						
								ラテン							
								72	ボサノバ						
								73	サルサ						
								74	サンバ						

● マルチパッド

バンク No.	バンク名	バンク No.	バンク名	バンク No.	バンク名	バンク No.	バンク名
1	ピアニスト	4	ギタープレイ	7	DJ ドラムス	10	1234
2	トゥインクル	5	パーカッション	8	DJ		
3	オルガンプレイ	6	ドラムス	9	テクノ		



故障かな？と思ったら

現象	原因	解決方法
電源入 / 切スイッチを押したときに、ポツンという音が出る。	本体に電流が流れるためです。	故障ではありません。
音が歪んだり、リズムが止まったりする。パネルの設定が、電源を入れたときの状態に戻る。	電池が消耗しています。	電池を交換してください。
PSR-260 から雑音が出る。	PSR-260 の近くで携帯電話を使っているためです。 (または呼び出し音が鳴っています)	PSR-260 の近くでは携帯電話の電源を切ってください。PSR-260 の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。
音が出ない。	PHONES/OUTPUT [ヘッドフォン / 外部出力] 端子に、ヘッドフォンなどのプラグが接続されています。	ヘッドフォン (プラグ) を抜いてください。
伴奏でスタート / ストップボタンを押してもリズム音が鳴らない。	伴奏に伴奏ナンバー 081 ~ 100 (伴奏カテゴリ : ピアニスト) が選ばれています。	故障ではありません。伴奏ナンバー 081 ~ 100 が選ばれている場合は、ピアノだけの伴奏が鳴ります。
同時に鍵盤やマルチパッドを押さえても、鳴らない音がある。	発音数には制限があります。	PSR-260 の最大同時発音数は 16 です。自動伴奏やソングの演奏なども含めて最大 16 音の範囲で鳴らすことができます。 (23 ページ参照)
押さえる鍵盤によって音質や音量が異なる。	音色によっては、リアルな楽器表現を可能にするために、鍵域をいくつかに分けて楽器音をサンプリングする「マルチサンプリング」という方法で作られたものがあります。それらの音色は、音域によって音質や音量が若干異なる場合があります。	故障ではありません。
右手側の鍵盤を弾いたとき、音が鳴らない。	ディクショナリー機能が働いています。	故障ではありません。ディクショナリーを「切」にしてください。
ソングが途中で止まる。	ウェイティング機能が働いています。	ウェイティングを「切」にしてください。 (37 ページ参照)
ソングのメロディが聞こえない。	マイナスイオン機能が働いています。	マイナスイオンを「切」にしてください。 (38 ページ参照)
伴奏鍵域で押さえた鍵盤と、ディスプレイに表示される鍵盤が合わない。	ディスプレイには、認識されたコードの決められた構成音が表示されます。	故障ではありません。認識されたコードは、常にフィンガードの押さえ方で表示されません。(44 ページ参照)
フットスイッチ (サステイン) のオン / オフが逆になった。	フットスイッチを踏みながら電源を入れたためです。	電源を切りフットスイッチを踏まないで電源を入れてください。



MIDI インプリメンテーションチャート

YAMAHA [ポータブルキーボード]
 Model PSR-260 MIDI インプリメンテーションチャート

Date:26-Apr-2000
 Version : 1.0

ファンクション	送信	受信	備考
ベーシック チャンネル 電源ON 設定可能	1 - 7,10 x	1 - 7,10 x	
モード 電源ON メッセージ 代用	3 x *****	3 x x	
ノート 番号 音域	0 - 127 *****	0 - 127 0 - 127	
ペロシティー ノートオン ノートオフ	o 9nH,v=1-127 *1 x 9nH,v=0	o 9nH,v=1-127 x 9nH,v=0 or 8nH	
アフター キー別 タッチ チャンネル別	x x	x x	
ピッチベンダー	x	x	
コントロール チェンジ	0,32 o *2 7 o 10 o 6,38 x 64 o 71-74 x 84 o 91,93,94 x 96,97 x 98,99 x 100,101 x	o *2 o o x o x o x x x x x	バンクセレクトLSB, MSB ボリューム パン データエントリー サステイン ボルタメントコントロール RPNデ-タインクリメント, デクリメント NRPN LSB. MSB RPN LSB. MSB
プログラム チェンジ : 設定可能範囲	o 0 - 127 *3 *****	o 0 - 127 *3 *3	
システムエクスクルーシブ	o *4	o *4	
コモン : ソングポジション : ソングセレクト : チューン	x x x	x x x	
リアル : クロック : コマンド	x x	x x	
その他 : オールサウンドオフ : リセットオールコントロール : ローカルON/OFF : オールノートオフ : アクティブセンス : リセット	x x x x o x	x x x x o x	

モード 1 : オムニ オン , ポリ
 モード 3 : オムニ オフ , ポリ

モード 2 : オムニ オン , モノ
 モード 4 : オムニ オフ , モノ

o : あり
 x : なし

1 送信するベロシティの値 (音量の値) は、鍵盤を弾く強さが同じでも、選択されている楽器によって異なります。

2 バンクセレクト

・MSB はメロディ音色 / リズム音色の切り替えに用いられます。

MSB = 00H : メロディ音色

MSB = 7FH : リズム音色

・LSB は楽器リストを参考にしてください。

3 プログラムチェンジ

・プログラムチェンジを受信しても、本体パネルで選ばれている音色 (LCD 表示も) は変わりません。

・プログラムチェンジの値は楽器リストを参考にしてください。

4 エクスクルーシブ

<GM システムオン>

F0H, 7EH, 7FH, 09H, 01H, F7H

・すべてのデータの設定値を初期設定値に戻します。



オプション (別売) 商品のご案内

ヘッドフォン	HPE-150	¥4,000
	HPE-3	¥3,000
キーボードスタンド	L-2L	¥4,000
	L-2C	¥6,000
フットスイッチ	FC4	¥3,000
	FC5	¥1,500

MIDIケーブル	MIDI-03 (3m)	¥1,100
ソフトケース	SCC-32	¥6,000
	SCC-36	¥8,000

商品の金額には、消費税は含まれておりません。



仕様一覧

鍵盤

レギュラーサイズ61鍵(C1～C6:タッチレスポンス付)

ディスプレイ

大型液晶ディスプレイ(バックライト付き)

セットアップ

電源 入/切スイッチ

全体音量コントロール:大～小

コントロール

全体設定ボタン、ソングボタン、楽器ボタン、伴奏ボタン、デモボタン、ピアノボタン、DJボタン、メトロノームボタン、Dict.、レッスン[L],[R]ボタン、テンポ/タップボタン、数字ボタン[0]～[9],[+],[-]

楽器

楽器 100 音色 (最大同時発音数 16)

エフェクト

デュアル(音色内に内蔵)

ハーモニー/エコー(音色内に内蔵)

スプリット(音色内に内蔵)

サステイン(音色内に内蔵)

自動伴奏

100 伴奏

マルチフィンガリング

セクション:

イントロ、メイン A/B、エンディング、フィルイン

全体設定

マルチパッド

採点 入/切

音声 入/切

トランスポーズ

チューニング

伴奏/ソング音量

メトロノーム音量

伴奏コントロール

伴奏 入/切、シンクロスタート、

スタート/ストップ、イントロ/エンディング、

メイン A/B(オートフィルイン)

ソングコントロール

A/B リピート、一時停止、

スタート/ストップ、巻戻し、早送り

ワンタッチセッティング

楽器(各伴奏、またはソング)

マルチパッド

4 種類 x 10 バンク

YES(レッスン機能)

ディクショナリー

レッスン 1～4

ソング

ソング 100 曲

アンプ実用最大出力

電源アダプター PA-3B 使用時: 2W + 2W (EIAJ)

乾電池使用時: 2W + 2W (EIAJ)

MIDI

イン/アウト

付属端子

PHONES/OUTPUT、DC IN 10-12V、MIDI IN/OUT、SUSTAIN

スピーカー

12cm x 2

電源

アダプター: PA-3B

定格電圧: 10-12V

定格電流: 700mA

電池: 単 1 乾電池(1.5V) x 6

電池寿命

マンガン電池で約 22 時間

(デモ演奏連続使用: 全体音量コントロールの位置 = 最大の 70%)

消費電力

電源アダプター PA-3B 使用時: 11W

寸法(幅 x 奥 x 高 mm)

933 x 370 x 129

質量(kg) 乾電池含まず

5.2

付属品

電源アダプター PA-3B、譜面立て、和文シート、取扱説明書、ソングブック、保証書

仕様および外観は、改良のため、予告無く変更する場合があります。



インデックス

D			
DJ	24	
DJ セット	25	
M			
MIDI	51	
MIDI インプリメンテーション			
チャート	58	
MIDI 端子	51	
イ			
一時停止	32	
イントロ	43	
イントロシンクロスタート	43	
ウ			
ウェイティング	37	
エ			
演奏の準備	6	
エンディング	43	
オ			
オプション商品	59	
音声ガイド	40	
音符表示	20	
音量の調節	18	
カ			
外部出力端子	7	
各部の名称	8	
楽器	23	
楽器ナンバー	23	
乾電池	6	
ク			
グランドピアノ	21	
繰り返し練習	33	
ケ			
鍵盤表示	20	
コ			
故障かな?と思ったら	57	
コード(和音)	46	
コード表示	20	
サ			
最大同時発音数	23	
採点	39	
サステイン端子	7	
シ			
仕様	60	
小節表示	20	
シングルフィンガー	44	
シンクロスタート	42	
ス			
数字ボタン	19	
スタート	32	
ストップ	32	
セ			
全体設定	18	
ソ			
ソング	29	
ソング音量	32	
ソングコントロール	32	
ソングレッスン	34	
タ			
タイミング	36	
タッチレスポンス	26	
チ			
チューニング	28	
テ			
ディクショナリー	45	
デモ	29	
電源アダプター	6	
電源を入れる	18	
テンポ	31	
ト			
ドラムキット	25	
トランスポート	27	
ハ			
早送り	32	
伴奏	41	
伴奏音量	47	
伴奏鍵域	44	
伴奏パターンの切り替え	48	
ヒ			
ビート表示	20	
拍子(メトロノーム)	22	
フ			
フィルイン	49	
フィンガード	44	
フットスイッチ	7	
譜面立て	7	
プログラムチェンジナンバー	52	
ヘ			
ヘッドフォン	7	
ホ			
ボースハンド	38	
保証とアフターサービス	62	
マ			
マイナスワン	38	
巻戻し	32	
マルチパッド	50	
マルチパッドバンク	56	
マルチフィンガリング	44	
メ			
メイン	49	
メトロノーム	21	
メトロノーム音量	22	
メロディ音色の変更	30	
リ			
リタルダンド	43	
ル			
ルート音(ディクショナリー)	45	
ワ			
ワンタッチセッティング	26	



保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

保証書

本機には保証書がついています。
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日から1年間です。

保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。
下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

ヤマハ電気音響製品サービス拠点（修理受付および修理品お持込み窓口）

北海道サービスセンター	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL(011)512-6108
仙台サービスステーション	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター 3F	TEL(022)236-0249
首都圏サービスセンター	〒211-0025	川崎市中原区木月1184	TEL(044)434-3100
浜松サービスステーション	〒435-0048	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL(053)465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター 3F	TEL(052)652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL(06)6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL(087)822-3045
広島サービスステーション	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14	TEL(082)874-3787
九州サービスセンター	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL(092)472-2134
[本社] カスタマーサービス部	〒435-0048	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL(053)465-1158

所在地・電話番号などは変更されることがあります。

ポータブル楽器に関するお問い合わせ窓口

クラビノーバ ポータブル楽器 インフォメーションセンター 〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1 TEL.053-460-5272
受付日 月曜日～金曜日（祝日およびセンターの休業日を除く） 受付時間 10:00～12:00 / 13:00～17:00

PA・DMI 事業部 EKB 国内営業部	〒430-8650	静岡県浜松市中沢町10-1 営業第二グループ	TEL(053)460-3275
EM 東京事業所	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL(03)5488-5476
EM 北海道営業所	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内	TEL(011)512-6113
EM 仙台営業所	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10	TEL(022)222-6147
EM 大阪事業所	〒542-0081	大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋プラザビル東館	TEL(06)6252-5231
EM 名古屋営業所	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28	TEL(052)201-5199
EM 広島営業所	〒730-8628	広島市中区紙屋町1-1-18	TEL(082)244-3749
EM 九州営業所	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL(092)472-2130

住所および電話番号は変更になる場合があります。

インターネットホームページのご案内

製品等に関する情報をホームページ上でご案内しております。ご参照ください。

・ヤマハ株式会社のホームページ <http://www.yamaha.co.jp/>

・PK CLUB(ポータブル楽器ホームページ) <http://www.yamaha.co.jp/product/pk/index.html>

ヤマハ株式会社